

588

ブラザー編機 オート  エル

正しい使い方



★お買上げありがとうございました。

ブラザー編機 オートLの素晴らしい機能とその正しい使い方を理解して頂きますために、まずこの説明書をお読み下さいますようお願い申し上げます。

編機講習整理券の使い方

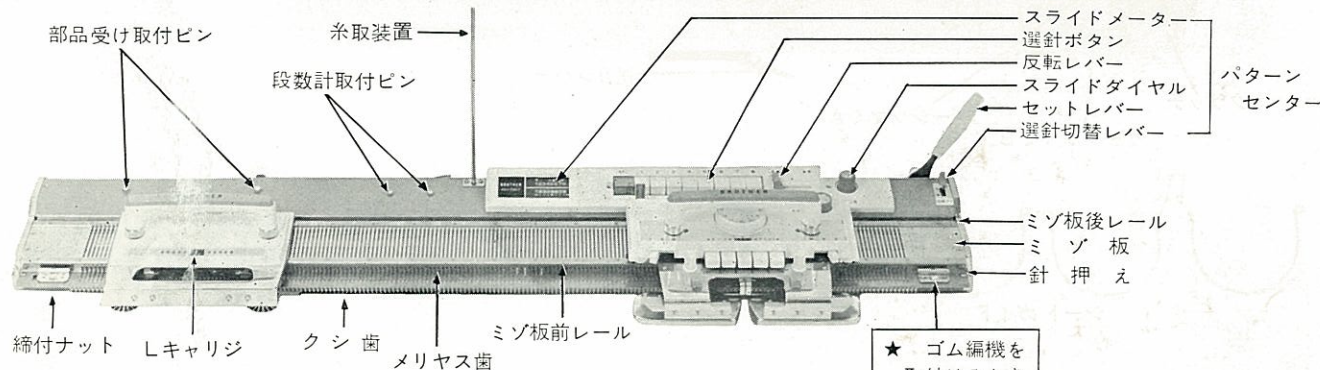
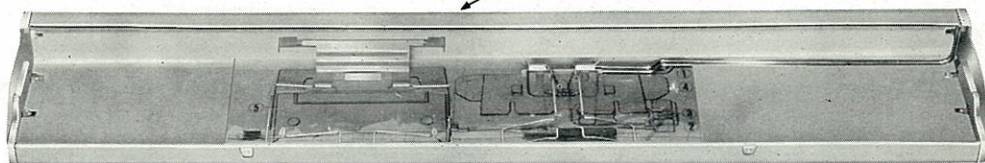
この説明書には講習整理券が6枚ついております。

これは教室で受講された場合の整理に使いますので、ご署名ご捺印の上1枚ずつ切取って教室にお渡し下さい。

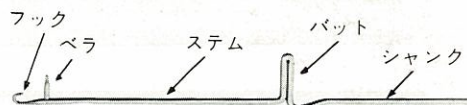
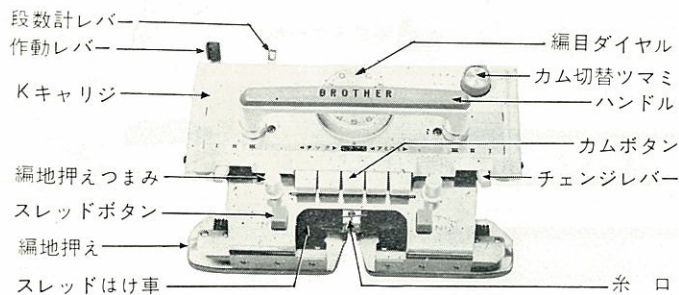
出張教授の場合は訪問の際2枚をお渡し願います。

各部の名前

ケース



★ ゴム編機を取付けるときは、この金具をとりはずして下さい。



送りダイヤル

段数ダイヤル

シートボタン

クラッチ

ゲージツマミ B

ゲージツマミ A

送りレバー



シートガイド



取付台



編目スケール



シート

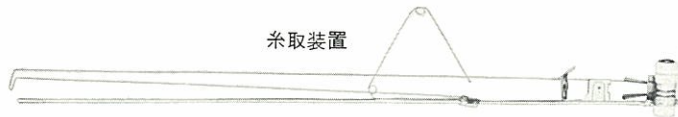


ブラザーペン



シートケース

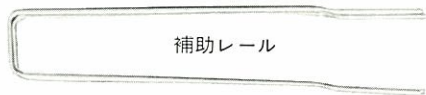
糸取装置



パラフィン



補助レール



編地押え



スレッド糸口



編出し



うつし 2×3

うつし 1×3

うつし 1×2



カギ針

タッピ



セットレバー



手ばけ



部品ケース

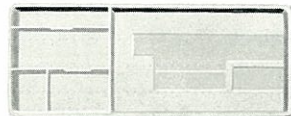
メリヤス針(予備)



カラーウエイト



針袋



部品箱



油差し



取付金具



模様板 1/2-1/5

模様板 0-2/3



抜き糸



ハンドル



キャリジ
止め金具

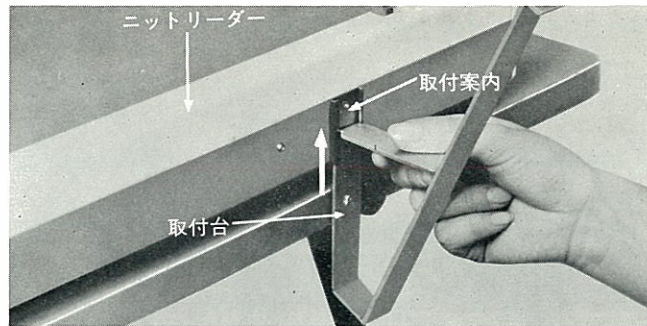
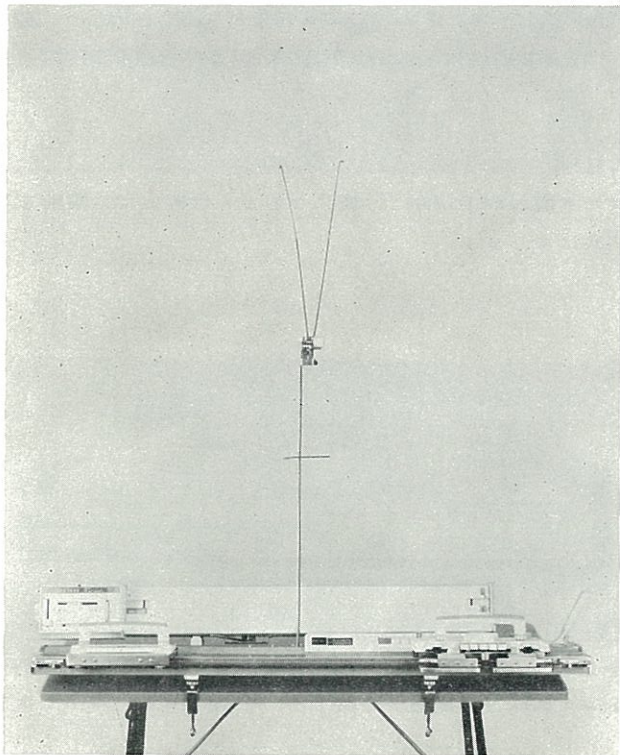
目

組立て方	1
編む前に	6
メリヤス針の位置	7
キャリジ	7
編み始め方	8
表目と裏目	14
ニットリーダーの使い方	15
編ゲージ	16
編ゲージの作り方	16
編ゲージの正しいとり方	18
編ゲージのセット方法	18
シートへの製図方法	19
シートの入れ方	20
編目スケールの目盛の読み方	21
シート製図の読み方	21
作品の作り方	22
編目スケールの段数への応用	23
ご注意	23
パターンセンターの使い方	24
選針	24
選針ボタンと反転レバー	25
スライドダイヤルとスライドメーター	26
模様編の編み方	27
操作表の見方	27
1. 引上編	29
2. 引上編(針抜き模様)	31
3. タック編	32
4. 総タック編	33
5. 引上タック編	34
6. ホール編	35
7. 同時編込模様(その1)	37
8. 同時編込模様(その2)	38
9. 同時編込模様(その3)	39
10. すべり目編	41
11. スレッド編(その1)	42

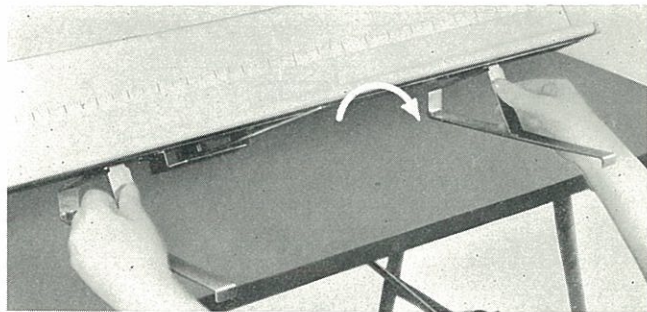
次

12. スレッド編(その2)	44
13. スレッド編(その3)	45
14. スレッド編(その4)	46
15. なわ編(交差模様)	47
16. ゴム編	49
17. ガーター編	51
18. ひも編	53
Lキャリジを使ったレース編	54
1. 準備	54
2. Lキャリジの使い方	55
3. レース編の編み方	58
レース模様1	59
レース模様2	60
レース模様3	61
レース模様4	62
作品を編むために	63
1. 捨て編	63
2. 平編の引返し編	64
3. 同時編込模様, すべり目編, スレッド編の引返し編	66
4. 引上編の引返し編	67
5. タック編の引返し編	70
6. 増し目	73
7. 減らし目	74
8. 巻き止めと機械はぎ	76
9. 伏せ止め	76
10. ゴム編の止め方	76
11. Lキャリジの引返し編	77
もし……のときには……します	79
メリヤス針が曲ったとき	80
編んでいる途中でキャリジが動かなくなったとき	81
Lキャリジが編んでいる途中で動かなくなったとき	83
手入れと保存	84
注油	84
保存	85
しまい方	86

* 組 立 て 方 *

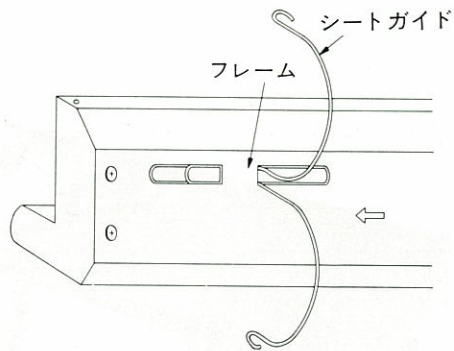
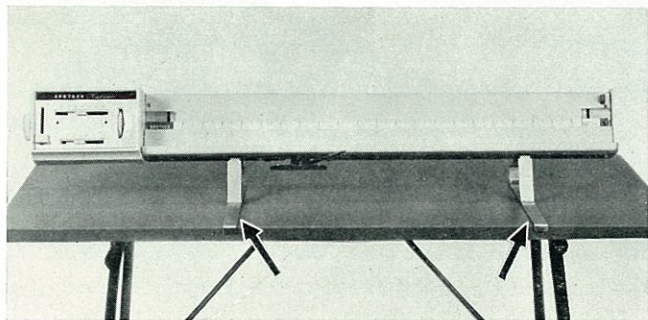


- (1) ニットリーダーを操作部が上になるようにテーブルの上におき、取付案内に取付台をとまる所まで差し込みます。

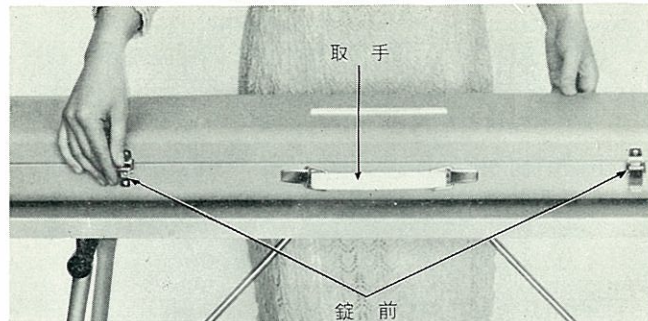


- (2) 取付台をもってニットリーダーを手前に起し、取付台を写

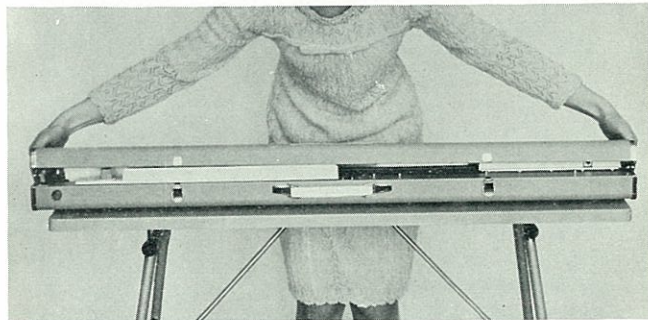
真のようにテーブルの角に合わせてのせます。



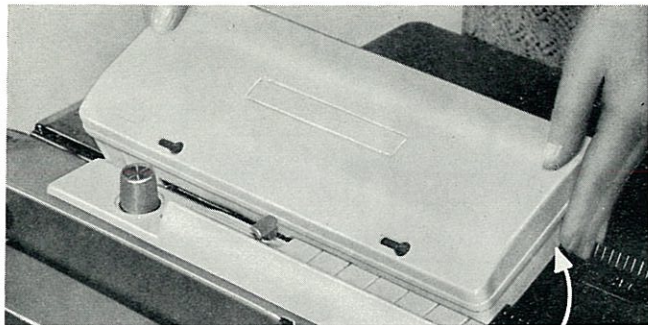
(3)シートガイドをフレームに差し込みます。



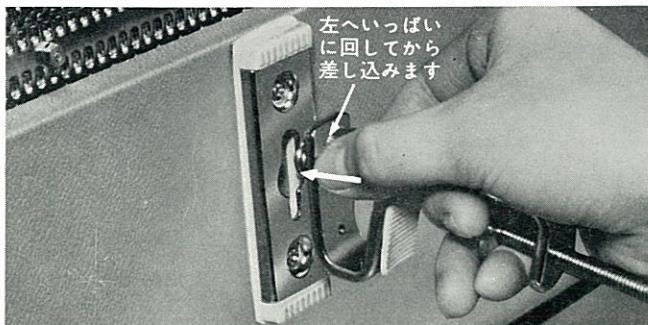
(4)次に本機の取手が向こう側になるように置いて、錠前を2個共はずします。



(5)ケースの向こう側を少し持上げ、手前に引き、はずします。

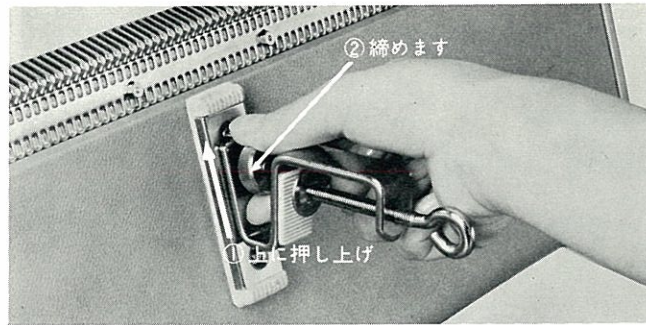


(6)部品箱をはずします。



左へいっぱい
に回してから
差し込みます

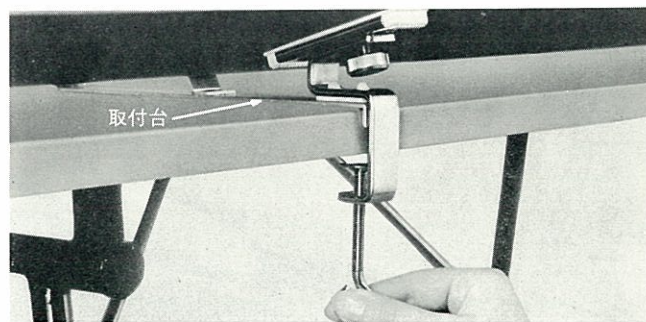
(7)取付金具を取り出し、締付ねじの頭をケース下面にある取付穴の中央に差し込みます。



② 締めます

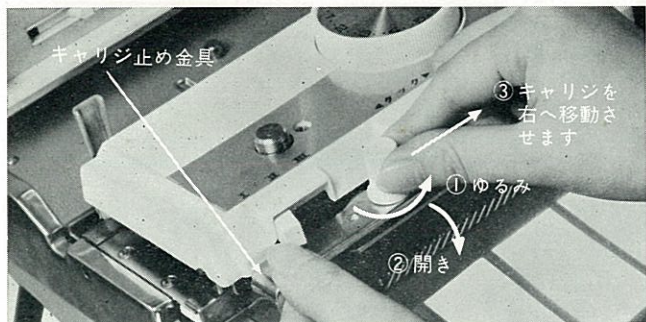
① 上に押し上げ

(8)上に押し上げ締付つまみを右に回して締め付けます。

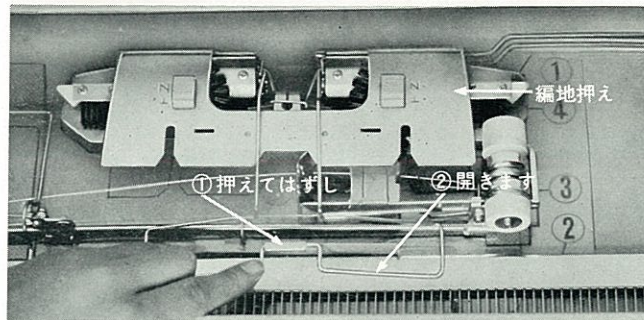


取付台

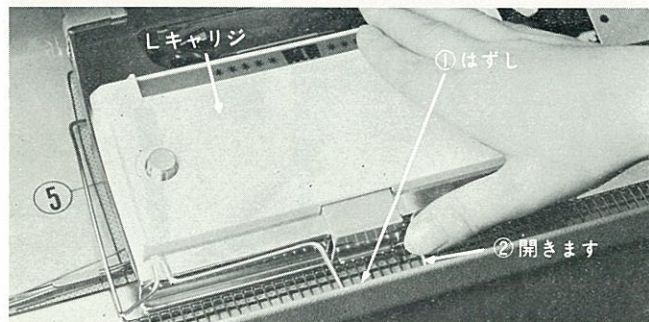
(9)取付金具を左右共ケースに固定してから取付台に重ねてテーブルに取り付けます。



(10) キャリジ止め金具をはずします。



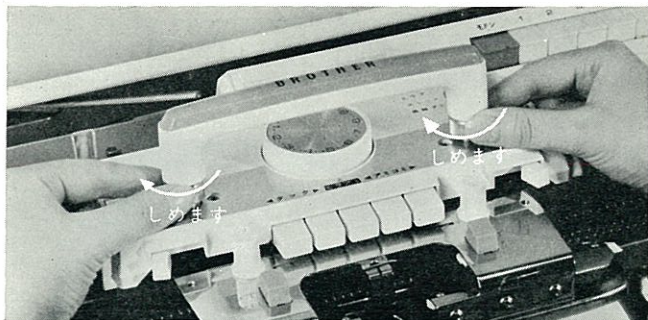
(12) 押えばねをはずして、編地押えを取り出します。



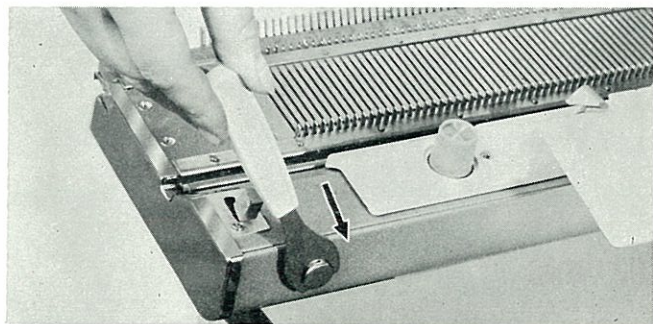
(11) ケースにある押えバネをはずしてL キャリジを取り出します。



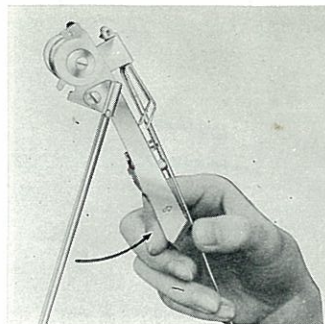
(13) キャリジの編地押えつまみをゆるめてから、編地押えをつまみの下に差し込み、締め付けます。



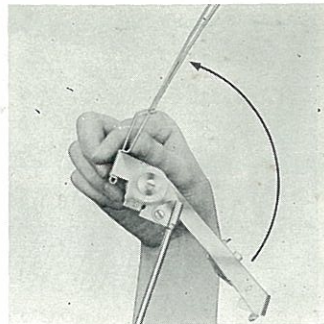
(14)ハンドルをキャリジに取り付けます。



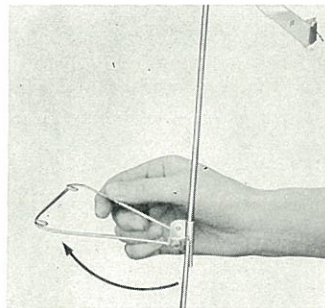
(15)セットレバーをケース右側の取付軸に差し込みます。



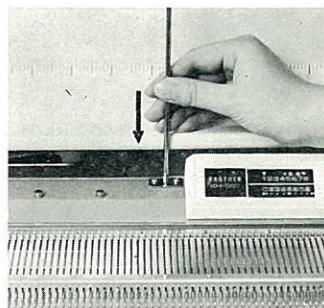
(16)糸取装置をとり出して前糸



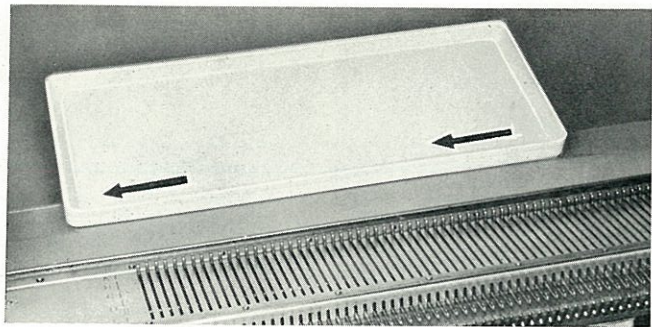
(17)糸取バネを“かちっ”と音案内を矢印方向に開きます。のする迄、回します。



(18)後糸案内をとまる迄開きます。



(19)糸取棒を糸取装置取付穴に差し込みます。

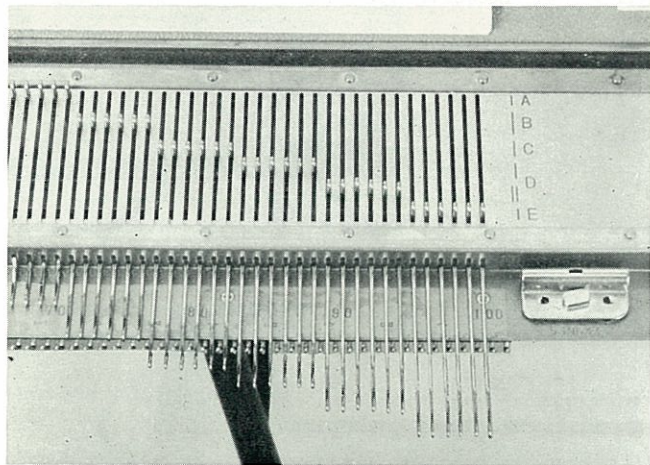


(20)ニットリーダーを付けないときは、部品受け(部品箱のふた)を取付けます。

* 編む前に..... *

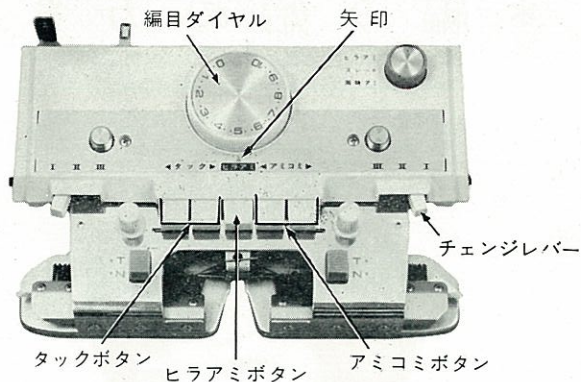


メリヤス針の位置



★メリヤス針にはA・B・C・D₁・D₁₁・Eの位置があり、ミソ板両端のA・B・C・D₁・D₁₁・Eが各位置を示しています。

キャリジ



編目ダイヤル

- ★編目ダイヤルは、使う毛糸の太さに応じて編目の大きさを調節する役目をします。
- ★数字又は点を矢印に合わせます。
- ★数字が大きいほど編まれる編目は大きくなります。

カムボタン

- ★ヒラアミボタンは押してもすぐ戻ります。
- ★タック、アミコミのボタンは、押された位置に止まります。
- ★二つのボタンを押す場合は、二つ同時に押して下さい。

チェンジレバー

- ★チェンジレバーには、I、II、IIIの位置があります。

標準目盛

使用毛糸	目盛
細糸	0～3
合細	3～4
中細	4～6
並太	6～9
極太	9～10

* 編み始め方 *

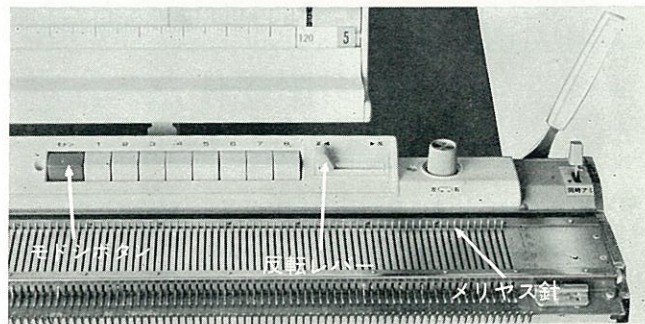
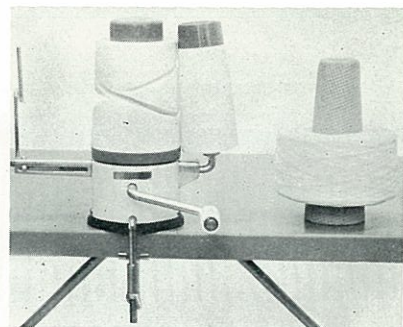


★機械の新しい間は特に注油が大切です。めんど
うがらずに注油して下さい。

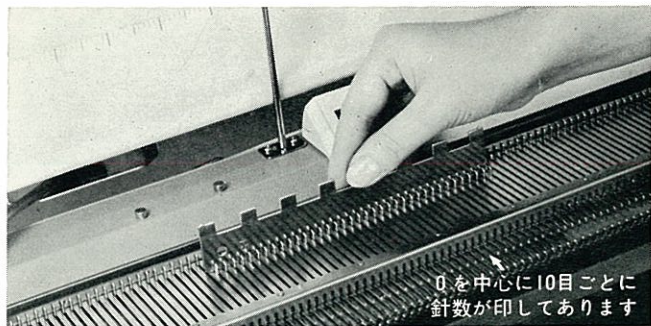
注油の仕方は84ページをご覧下さい

以上の点に注意していただきますと、いつまで
も軽く調子よく編めるばかりでなく、機械の寿
命が長くなります。

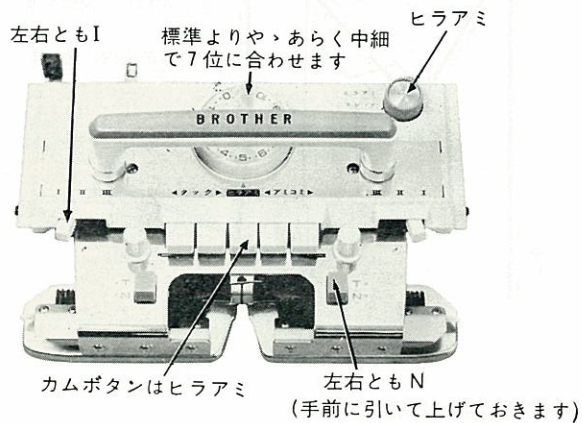
(1)毛糸を用意します。(毛
糸はブラザー糸巻器し
で巻いておくか、ふん
わり解きほぐしておい
て下さい。)



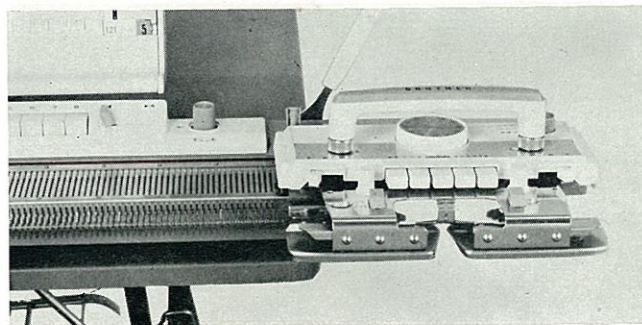
(2)モトシボタンを押し、反転レバーを正にして、メリヤス針
を全部A位置にします。



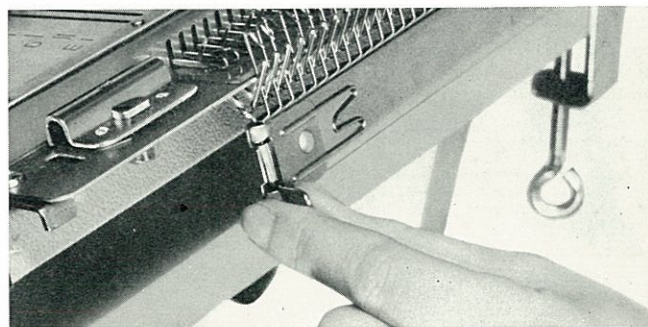
(3) メリヤス針を編幅に応じてB位置に出します。



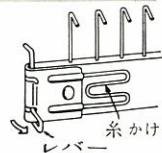
(4) キャリジを上の写真のようにセットします。

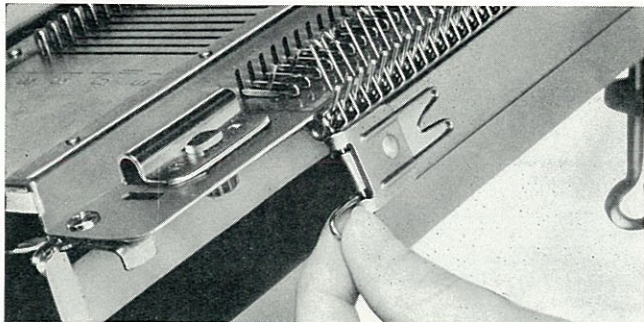


(5) キャリジを1~2回左右に動かし、ミゾ板の右端に置きます。

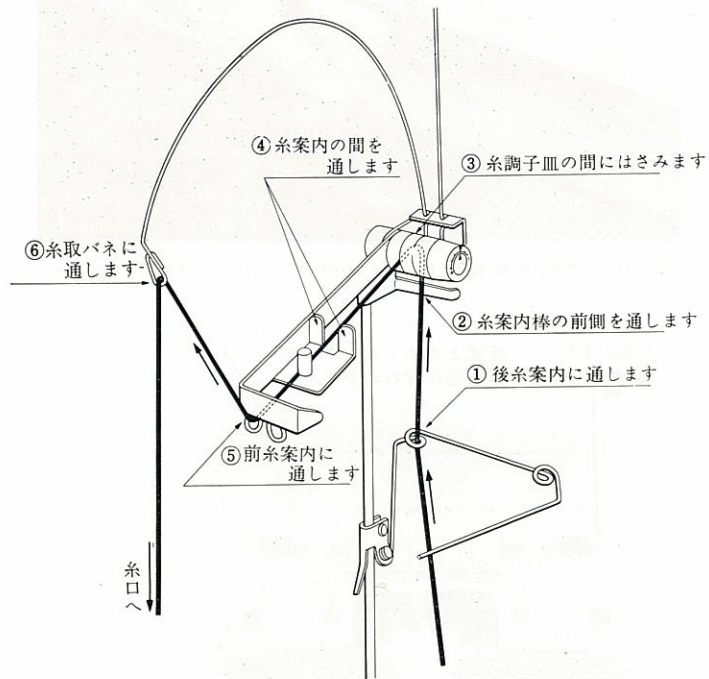
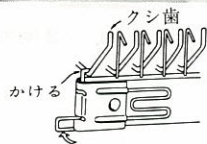


(6) 編出しを糸かけが手前になるように持ち、両端のレバーを手前に回します。

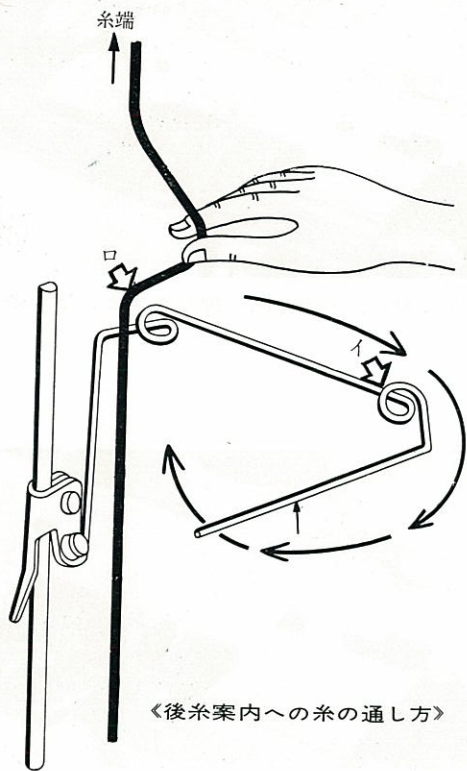




(7)図のように両端のレバーを外側にまわしてクシ歯にかけます。

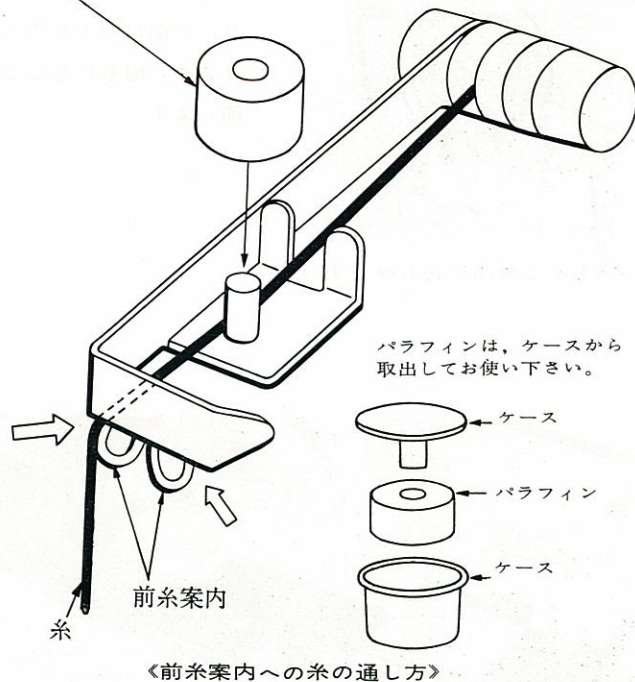


(8)糸取装置に編糸を通します。

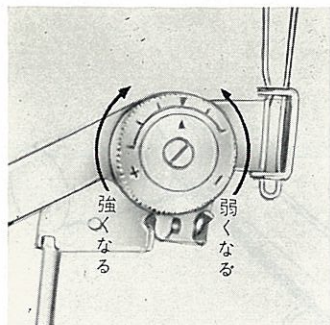


★後糸案内の内側へ糸を入れ、①または②のいずれかへ図のように糸を通します。

パラフィンとは後からはめます。



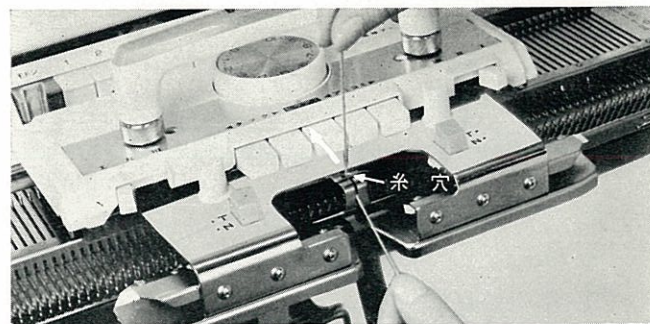
★前糸案内の外側に糸をあて、矢印の方向に引きます。



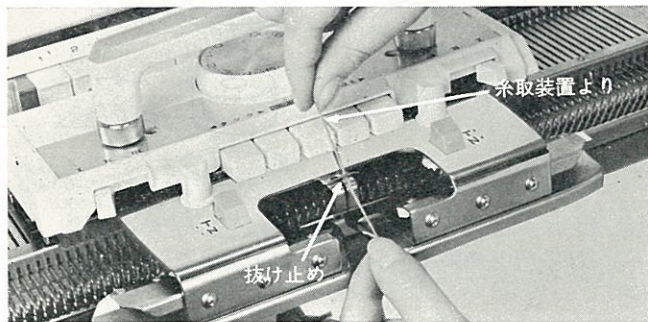
(9)糸調子をとります。

＋側に回しますと強くなり、
－側に回すと弱くなります。
編糸に応じて調節します。

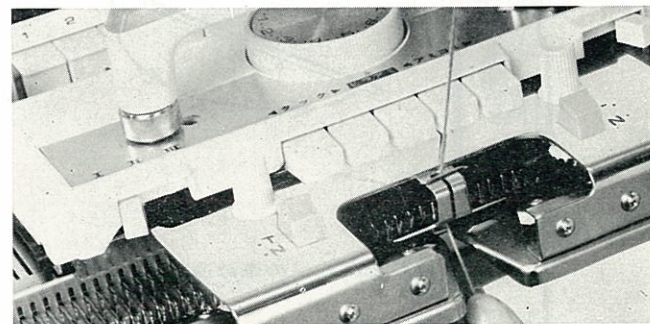
(中細毛糸は▼印に合わせます。)



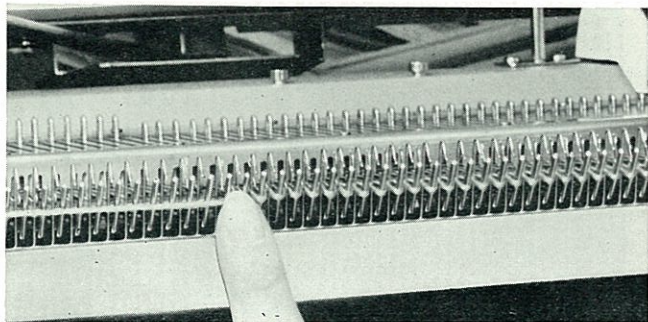
(11)糸を張りながら、矢印方向へ押しますと、下の糸穴に入ります。



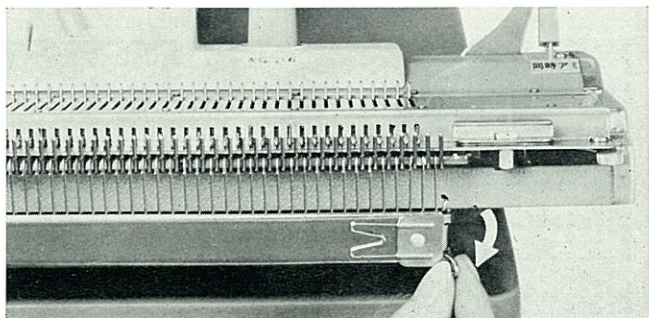
(10)糸を糸口の抜け止めの下に通します。



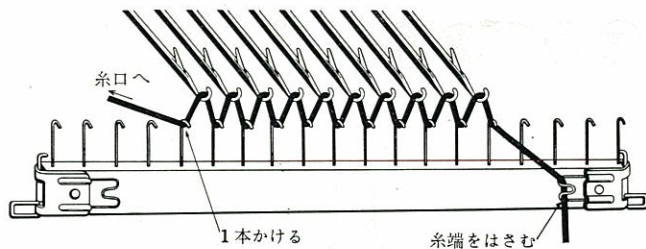
(12)糸端を手で持ち、キャリジをゆっくり右から左へ動かしますと編糸がメリヤス針にかかります。



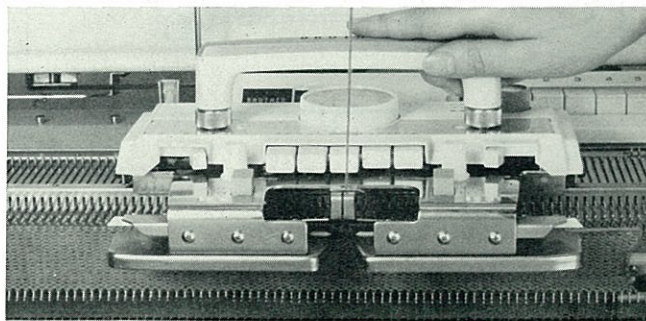
(13) かけ終りましたら、左端の編針が前に出ないように指で押さえて、キャリジをミゾ板の左端迄動かします。



(14) 編出し両端のレバー（矢印）を手前にまわし、編出しを静かに引き下げます。



(15) 糸端を編出しの糸かけにはさみ、かけ終りの糸を編出しのかぎに1本だけかけて下さい。

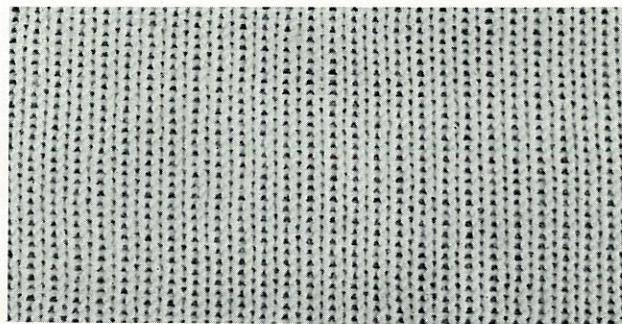
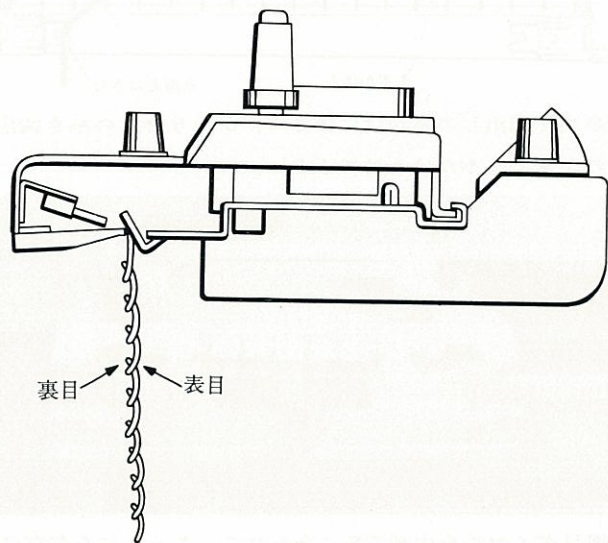


(16) 編目ダイヤルを中細で5に合わせて、キャリジを左右に動かしますと平編が編めます。

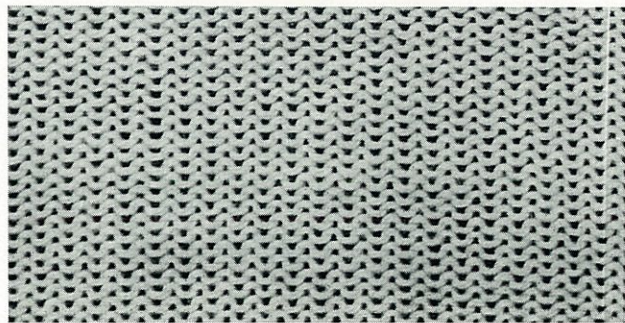
キャリジは途中で戻さないで、編んでいるメリヤス針が完全に通過してから戻します。

編んでいる途中でキャリジが動かなくなった場合は、
81ページをご覧ください。

表目と裏目



《平編の表目》

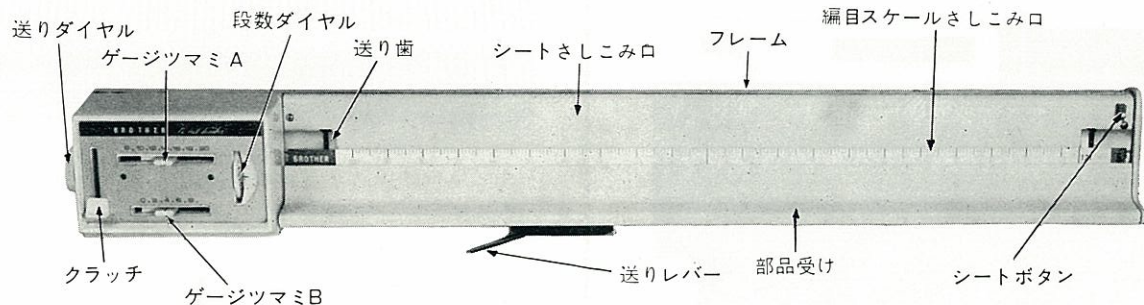


《平編の裏面》

- ★編んでいるとき、手前に見える面を裏目、向こう側になっている面を表目と言います。
- ★お好みによって、表目、裏目のいずれも作品として用います。

* ニットリーダーの使い方 *

★ニットリーダーは、自動的に割出し計算を行います。



★送りレバーは、シートおよび段数ダイヤルを送る役目をします。

★送りダイヤルは、シートをセットしたり、巻きもどしたりするときに使います。

★クラッチは、ゲージツマミ A および B をセットするときに使います。

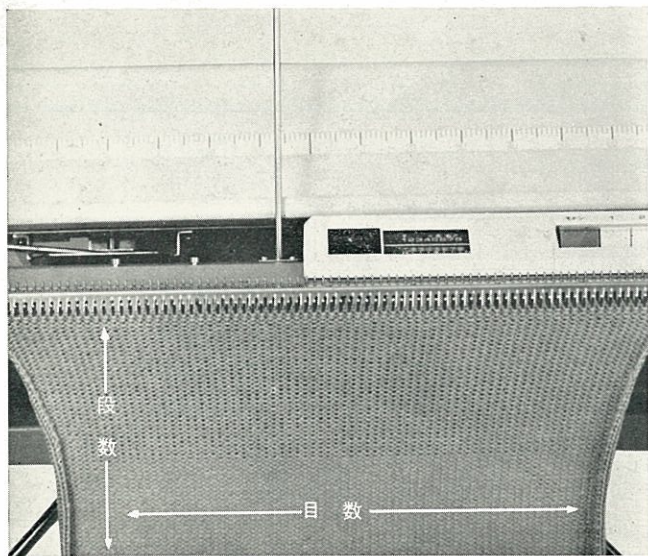
★ゲージツマミ A, B は、編ゲージの60段の長さをセットします。

★段数ダイヤルは、段数をあらわします。

★シートボタンは、シートを正しく入れる役目をします。

★部品受けは、タッピやウツシなどの部品を置けるようになっております。

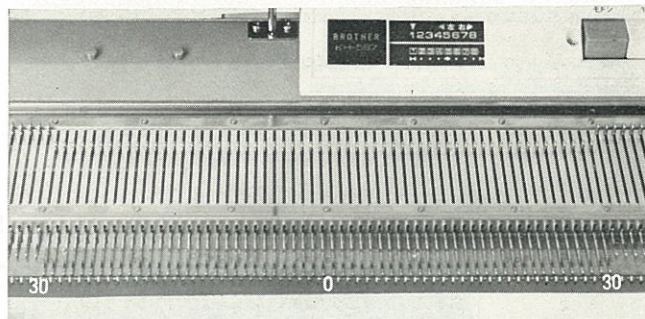
編ゲージ



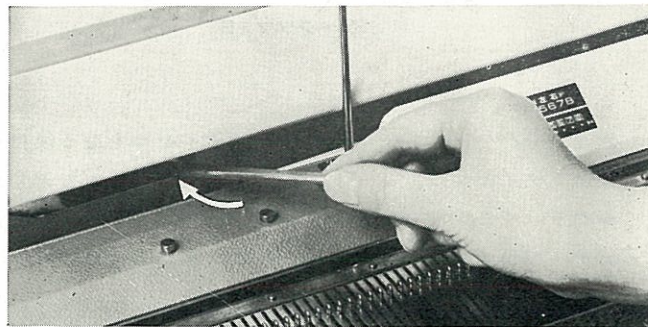
★編ゲージは、横方向は目数、縦方向は段数の密度を言います。

ニットリーダーでは、40目、60段の長さを計ります。

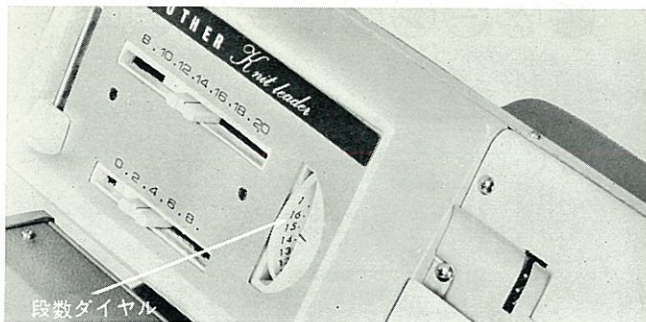
編ゲージの作り方



(1)ミゾ板の真中(0)を中心にして、左右30本針を出して編みます。

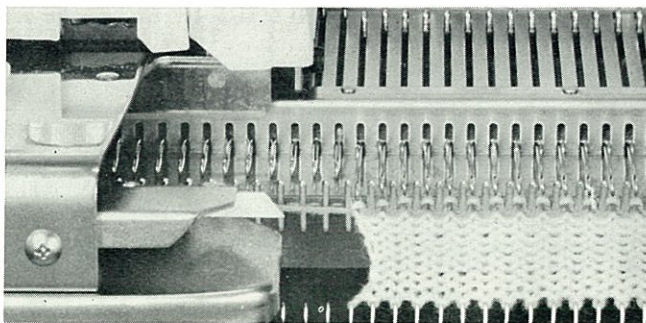


(2)送りレバーを出して下さい。

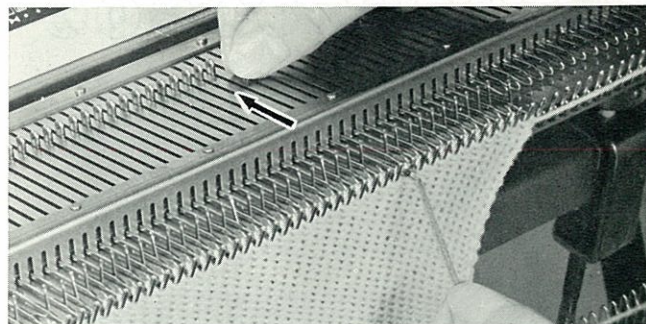


(3)段数は、段数ダイヤルを見て下さい。

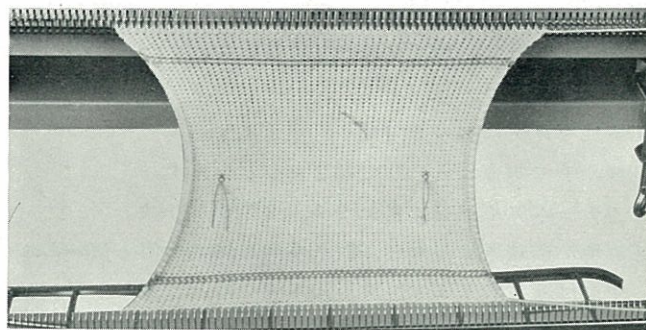
段数ダイヤルは、指で自由にセットでき、1回転30段です。
(ゲージツマミ A・Bはどの位置でもかまいません。)



(4)10段編んだ所で別の糸 (区別をつけるため、色の違った糸) を糸口に入れて、一段編みます。
編んだ後、段数ダイヤルを30にセットします。

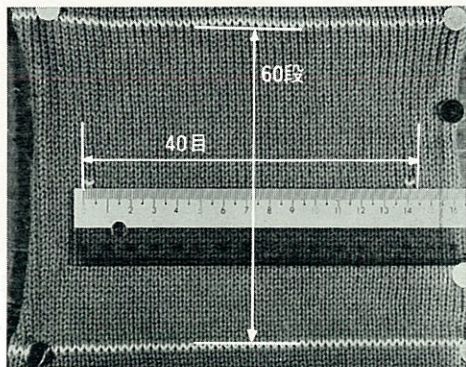


(5)それから、30段編んだとき、(段数ダイヤルが1回転、即ち目盛30) 左右対称20本目の編針をベラ越しさせ、フック部に別の糸をかけ、B位置に戻します。



(6)最初に別糸を編んだ所から60段 (段数ダイヤル2回転目盛30) 編んだ後、再び別糸で1段編みます。その後、更に10段位編んで編地を編機から外します。

編ゲージの正しいとり方

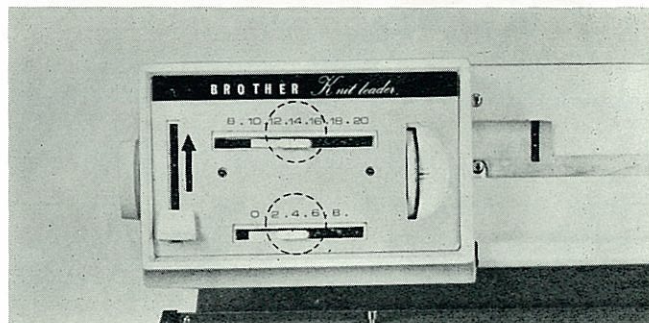


編み終わったばかりの編地は、編機の針と針との間隔だけのびておりますので、編地を自然な状態にもどすため、次の様に処理して下さい。

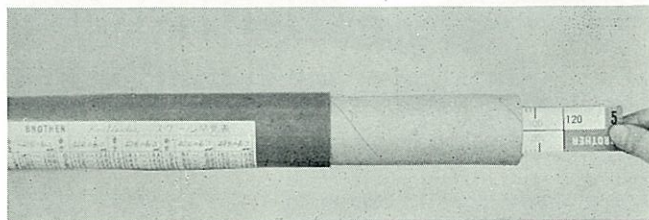
- ①編地をタテに2～3回軽く引張ります。
- ②軽く手で叩くようにして編目をもどします。
- ③スチームアイロンで蒸気を2～3分当てます。
- ④編地が落ち着きましたら、別糸の内側60段が何cm何mmあるか中央付近で計ります。又、20本ずつの糸しるしの外側40目が何cm何mmあるか計ります。

[注意] 綿、麻、合繊などの糸は水を通して、自然乾燥させてから計って下さい。

編ゲージのセット方法



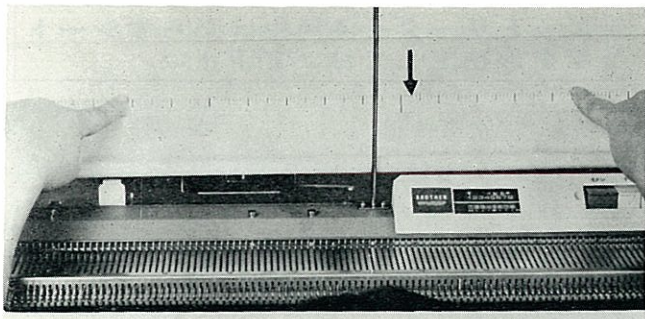
- (1) 編ゲージを計った時、60段の長さが14.4cmあったとしますと、クラッチを上いっぱい押しあげ、ゲージつまミAを目盛14に、ゲージつまミBを目盛4の所に合わせます。



- (2) 40目の長さが12.0cm(120mm)あったとしますと120の編目スケールを探します。

シートケースに貼ってあります「編目スケール早見表」から120の編目スケールは「青の5」ということが分ります。

120の編目スケールをシートケースから取り出します。



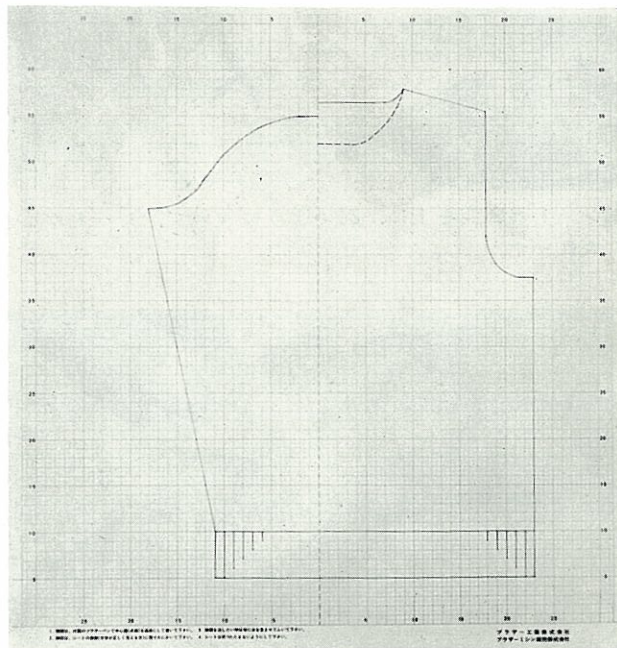
- (3) 120の編目スケールを、編目スケールさしこみ口に上からさしこんで下さい。

シートの製図方法

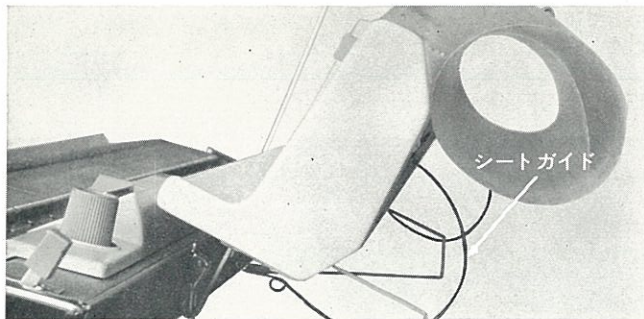
- (1) シートケースからシートを取り出して下さい。
- (2) あなたが編みたい作品の製図を、シートの表側（文字が正しく見える方）に、付属のブラザーペンで中心線（点線）を基準にして現寸大にかいて下さい。
（左右対称のときは、半分だけかいて下さい。）
- (3) 実物大、型紙を写されるときは、シートの裏側にあてて、表側から写しとって下さい。
- (4) 製図は、編み始めを下側にしてかいて下さい。
- (5) まちがったときや、書き直したいときには布に水を含ませ

て、上から軽くふきますと消えます。

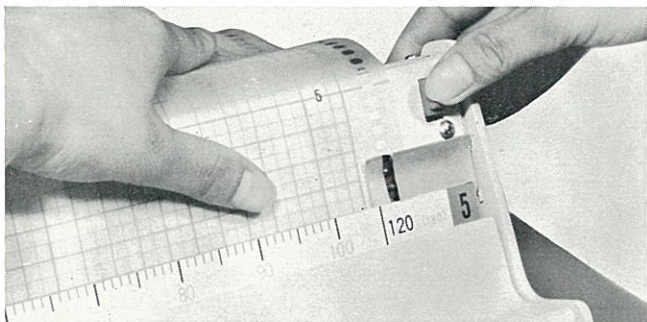
（ふいた後、すぐ書きますと線がにじみますから、注意して下さい。）



シートの入れ方



(1)シートの表側を上、図のようにまいて、シートガイドに入れます。

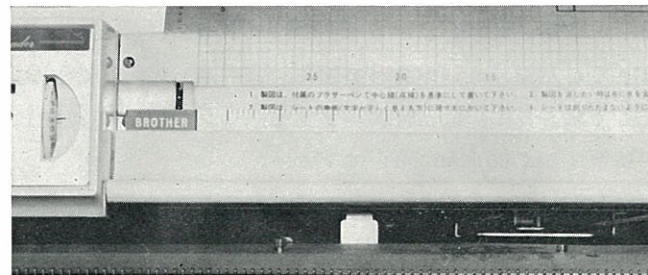


(2)シートボタンを押し下げますと、ボタンはそのままの位置に止まります。

ニットリーダー使用中は必ずシートボタンを出しておいて下さい



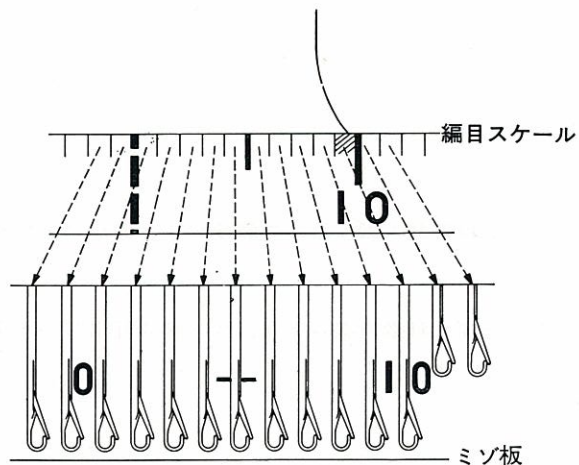
(3)シートの下端をシートさしこみ口にさしこみ、左側の送り穴を送り歯にかけて、送りダイヤルを少し(2~3ピッチ)まわします。



(4)次にシートの右側をもって、シートの横線と編目スケールの線が平行になるように、シートを上下させて合わせます。シートボタンを押しあげますと、ボタンは元の位置に戻ります。

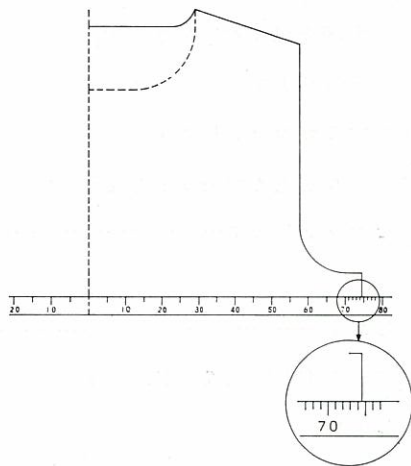
この後、編目スケールを左右に動かして、シートの中心線に編目スケールの中心線を合わせて下さい。

編目スケールの目盛の読み方



- ★編目スケールの目盛は、ミゾ板の針に対応します。
- ★編目スケールの目盛の数字は、ミゾ板の針番号、即ち編目を表わします。

シート製図の読み方



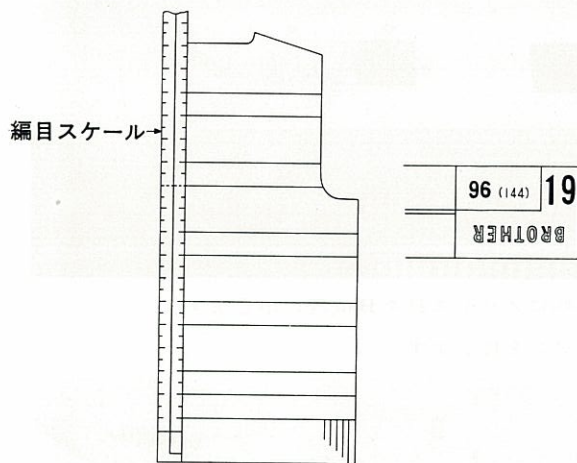
- ★シート上の線が編目スケールの上に来たときに、目数を読みます。読み方は、編目スケールの中心（点線）に対して左右共、切りあげて読みます。
- 例えば上図では、75と読み、針番号75の針を動かします。
- ★左右対称で型紙を半分だけかいたときは、編目スケールの読みとりに対して、左右対称の針を動かします。
- ★シートの線が編目スケール目盛よりプラス側に越えたら増し目、マイナス側に越えたら減らし目を行います。

作品の作り方

- (1) シートに製図を現寸大にかきます。
- (2) 編ゲージを計ります。
- (3) ゲージツマミをセットします。
- (4) 編目スケールを選んでセットします。
- (5) シートをセットします……………編目スケールの所に、シートの製図の編み始めの部分がくるように送りダイヤルをまわします。
- (6) 針を出します……………編目スケールの目盛から、必要な針数を読みとり、B位置に針出しします。
- (7) 送りレバーを不作用位置に下げます。
- (8) 編み出します。
- (9) 捨て編をします。(63 ページ参照) ……捨て編の次に抜き糸で一段編みます。
- (10) 送りレバーを作用位置に出します。
- (11) 本編に入ります……………送りレバーの向いている方から本編に入ります。

毎段、編む前に編目スケールでシート製図の線を読みとり、増し目、減らし目、引返し編などを行います。

編目スケールの段数への応用



★編目スケールは、2つの役目をもっています。

例えば上図で、最初の96は40目の長さ96mmをあらわし、()の144は、60段の長さ144mmをあらわします。

★段縞模様するとき、60段の長さが14.4cm(144mm)としますと、これは編目スケールを段方向へ使うのですから、()の中が144の編目スケールを取り出し、段方向にあてて段縞の目盛をシートの製図にかいて下さい。

線に従って糸を交換しますと、きれいな段縞ができます。

ご 注 意

- (1) シートおよび編目スケールは、折り曲げないようにして下さい。
- (2) ペンは、ブラザーペン以外のサインペンは使わないで下さい。
- (3) シートに製図をいくつか書くときは、ペンの色をかえてかきますと分りやすくなります。
- (4) 失敗したときは、81ページの編地の解き方を参照して下さい。
- (5) 編み幅が、せまいときでも、キャリジは、送りレバーを通過するまで、動かして下さい。
- (6) ゲージツマミA・Bは、必ずクラッチを押しあげてから、操作して下さい。
- (7) シートが送り歯に食い込んだ場合は、送りダイヤルを逆方向へ回して、シートをはずして下さい。
- (8) シートに無理な力が、かかるとスリップして送れませんので、無理な所がないか調べて下さい。
- (9) シートのよごれは、中性洗剤を布にしみこませて、ふきとって下さい。
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリンなどは使わないように注意して下さい。
- (10) ゴム編機をつけてニットリーダーを使用するときは、取付台のネジを後のネジ穴に入れて、ニットリーダーを取り付けて下さい。

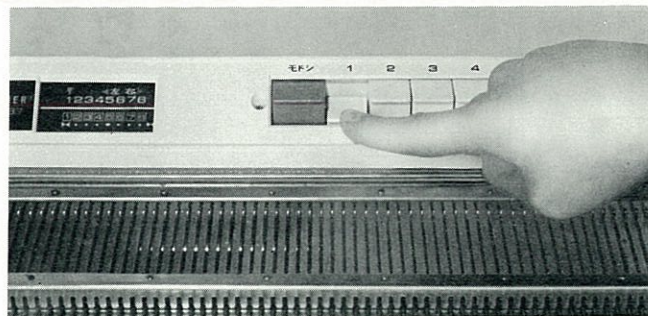
パターンセンターの使い方



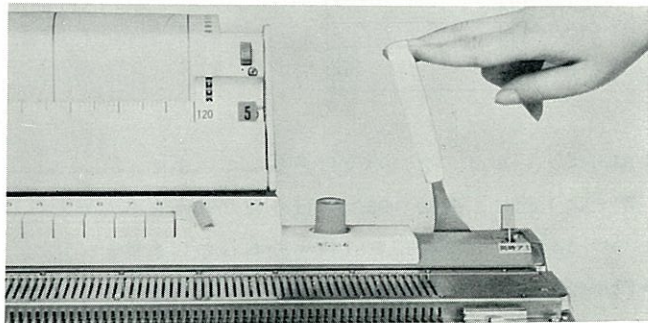
★パターンセンターは、色々な模様を編むために、メリヤス針を選ぶ役目をします。

選

針

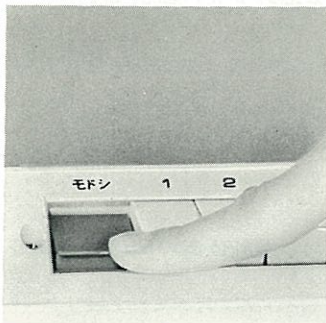


- (1) 適当な幅にメリヤス針をB位置に出します。
- (2) 選針ボタンを押します。

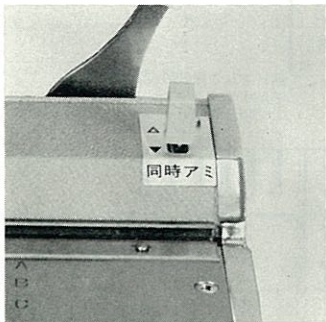


- (3) セットレバーを左へ止まるまで倒しますと、メリヤス針がD₁位置に選針できます。
- (4) キャリジを平編の状態にして1回動かしますと、メリヤス針がB位置に戻ります。

(5)セットレバーを再び倒しますと、同じメリヤス針が選針で
きます。

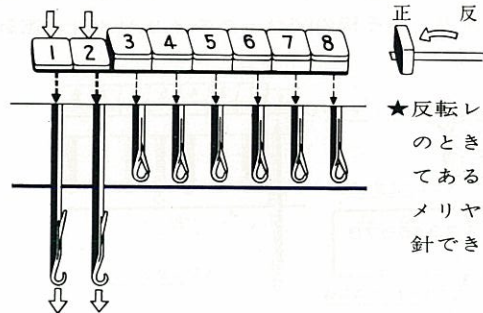


(6)モフシボタンを押しますと、押してあった選針ボタンが全部戻ります。

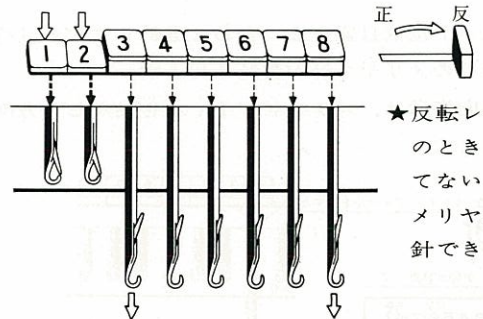


(7)選針切替レバーを手前に切替えますと、セットレバーを倒したとき、メリヤス針が大きく動き、 D_{11} 位置に選針されます。同時アミコミ編の場合に使います。

選針ボタンと反転レバー



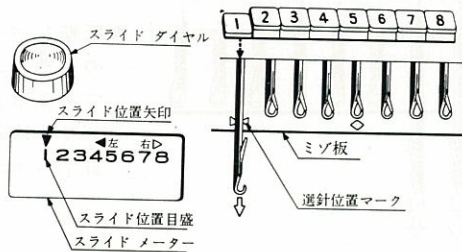
★反転レバーが正のときは、押してあるボタンのメリヤス針が選針できます。



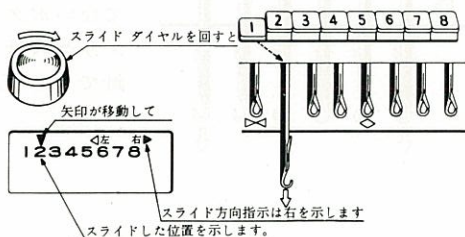
★反転レバーが反のときは、押していないボタンのメリヤス針が選針できます。

スライドダイヤルと スライドメーター

1. ①の選針ボタンを押して、スライド位置目盛を1に合わせ選針しますと、みぞ板の×マークのメリヤス針が選針されます。



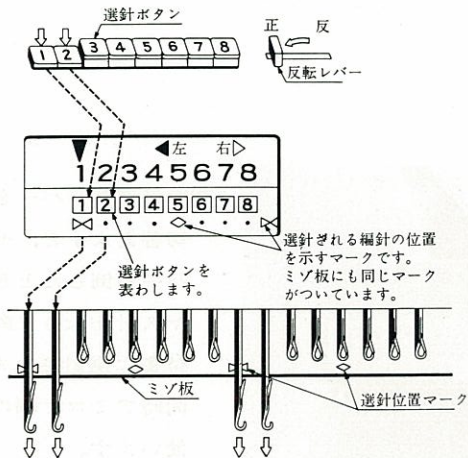
2. 次にスライド位置目盛を2に合わせ選針しますと、×マークの右隣のメリヤス針が選針されます。スライド方向指示は、スライドダイヤルを動かした方向を記憶表示します。



★この装置は選針ボタンを押し変えずに選針位置を移動する役目をします。

ジグザグ模様や、斜めの模様を編むときに使います。

3. 選針した場合の押したボタンと選針位置の関係は、図のようになります。

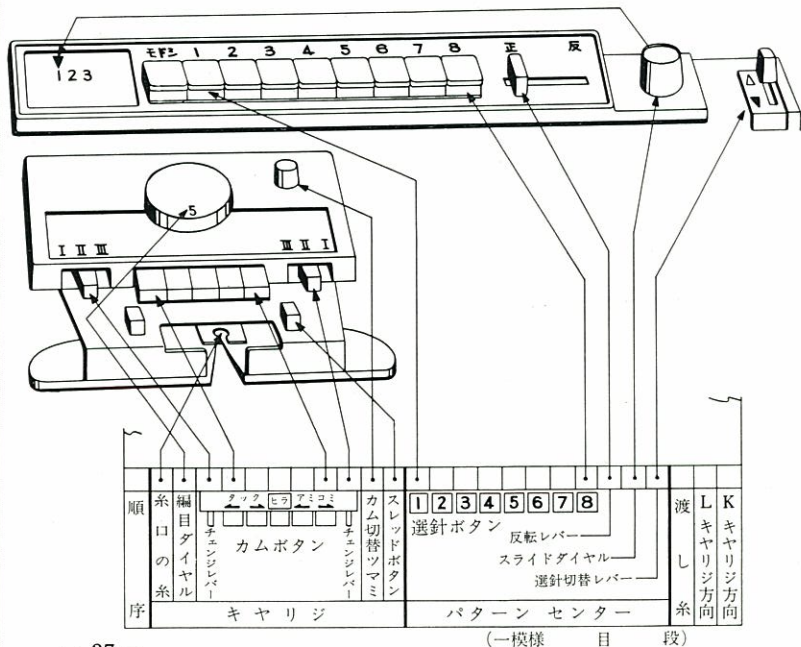


* 模様編の編み方 *



操作表の見方

★この説明書の選針装置を使った模様編の編み方は、すべて操作表で表わしてあります。



—各欄の意味は次の通りです—

- 順 序……数字の順に下から操作して行きます。
数字の横の欄に記号、数字、文字がある場合は、そこで切り替え操作が必要なことを示しています。
欄は左から見てその順に切り替え操作をして下さい。
一模様済みでしたら1に戻つてくりかえします。
- 糸 口 の 糸……糸取装置から糸口に入れる糸を示します。
地糸を a、配色糸を b、c …で表わしています。
- 編 目 グ イ ヤ ル……編目ダイヤルを、この数字に合わせます。
数字は中細糸に合わせてありますから、糸の太さに応じて加減して下さい。
- チ エ ン ジ レ バ ー……チェンジレバー右、左を記号の位置に合わせます。
- カ ム ボ タ ン……記号の位置のカムボタンを押します。
- カ ム 切 替 ツ マ ミ……カム切替ツマミを記号の位置に合わせます。
ヒはヒラアミ、スはスレッド、同は同時アミを示します。
- ス レ ッ ド ボ タ ン……スレッドボタンを記号の位置に切り替えます。

- 選 針 ボ タ ン……選針ボタンの押し方と、セットレバーの操作を示しています。
セットレバーは反転レバー、スライドダイヤル、選針切替レバーを切替えてから操作（選針）して下さい。
イ) 数字の入った記号■の場合、そのボタンを押し（または押し替えて）選針します。
ロ) 数字のない記号■の場合、ボタンを押さずに、選針します。
ハ) 記号がなく、空欄の場合は選針はいりません。

反 転 レ バ ー……反転レバーを記号の位置に切り替えます。
ス ラ イ ド グ イ ヤ ル……スライドダイヤルを回して、スライド目盛をこの数字に合わせます。

選 針 切 替 レ バ ー……選針切替レバーを記号の位置に切替えます。

渡 し 糸……記号のある場合は、クシ歯より前に出ている針の上にキャリジのある側から糸をかけ渡します。糸の種類をイ、ロ、ハ…で表わしています。

L キ ャ リ ジ 方 向……矢印の方向にLキャリジを動かして下さい。

K キ ャ リ ジ 方 向……矢印の通りにKキャリジを動かして下さい。

→は1回、↔は2回(1往復)です。

編み始めはKキャリジを編地の右端において下さい。

1. 引 上 編

平編と引上げを交互に組み合わせた、ごくシンプルな編目です。
 婦人用、子供用のセーター、ワンピースなどに最適です。

12	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	→
11	々	々	I	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	←
10	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	→
9	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	←
8	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	→
7	々	々	III	々	々	々	々	々	々	3	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	←
6	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	→
5	々	々	I	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	←
4	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	→
3	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	←
2	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	→
1	a	5	III	々	々	III	ヒ	N	1	3	正	1	△	々	々	々	々	々	々	々	←
順	糸	編目ダイヤル	チェンジレバー	カムボタン	チェンジレバー	カム切替ツマミ	スレッドボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	渡	L	K	糸	糸	糸
口	の	ヤル														し	キ	キ			
糸																	ヤ	ヤ			
リ																	リ	リ			
ジ																	ジ	ジ			
の																	の	の			
方																	方	方			
向																	向	向			
糸																	糸	糸			

(1枚様4目12段)

※チェンジレバー、スライドダイヤル、セットレバーの操作で編めます。



この模様は、チェンジレバーとスライドダイヤルの切替操作が途中はあります。

最初に少し平編をして、キャリジを編地の右端に置いて下さい。

順序1) 糸口の糸……そのまま。

編目ダイヤル……5に合わせます。

チェンジレバー……左右共Ⅲに合わせます。

カムボタン……ヒラアミを押します。

カム切替ツマミ……ヒラアミに合わせます。

スレッドボタン……Nに合わせます。

選針ボタン……1と5の選針ボタンを押します。

反転レバー……正にします。

スライドダイヤル……1に合わせます。

選針切替レバー……△印に合わせます。

以上のように合わせ、セットレバーを倒して選針し、キャリジを左へ動かします。

順序2) 選針せず、キャリジを右へ動かします。

順序3) " 左 "

順序4) " 右 "

順序5) 選針せず、キャリジの左側のチェンジレバーをⅠにして、キャリジを左へ動かします。

順序6) 選針せず、キャリジをそのまま右へ動かします。

順序7) スライド目盛を1から3に移動させ、選針ボタンはそのままにして選針し、キャリジの左側のチェンジレバーをⅢに切替えて、キャリジを左へ動かします。

順序8) 選針せず、キャリジを右へ動かします。

順序9) " 左 "

順序10) " 右 "

順序11) 選針せず、キャリジの左側のチェンジレバーをⅠにして、キャリジを左へ動かします。

順序12) 選針せず、キャリジをそのまま右へ動かします。

1)～12)をくり返します。

2回目から順序1)は、チェンジレバーとスライドダイヤルだけの操作になります。

2. 引上編 (針抜き模様)

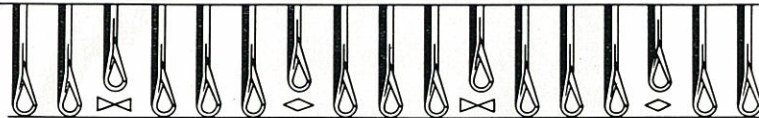
編針を最初から3本おきに1本、編めない位置に残して(針抜き),引上編をしたスッキリとした編地です。

写真のように婦人用トッパーまたは、春向きのフレンチセーターなどにご利用下さい。

12	ク	ク	ク		ク		ク	ク	ク							ク	ク	ク					→	
11	ク	ク	I		ク		ク	ク	ク							ク	ク	ク					←	
10	ク	ク	ク		ク		ク	ク	ク							ク	ク	ク					→	
9	ク	ク	ク		ク		ク	ク	ク							ク	ク	ク					←	
8	ク	ク	ク		ク		ク	ク	ク							ク	ク	ク					→	
7	ク	ク	III		ク		ク	ク	ク				■			ク	5	ク					←	
6	ク	ク	ク		ク		ク	ク	ク							ク	ク	ク					→	
5	ク	ク	I		ク		ク	ク	ク							ク	ク	ク					←	
4	ク	ク	ク		ク		ク	ク	ク							ク	ク	ク					→	
3	ク	ク	ク		ク		ク	ク	ク							ク	ク	ク					→	
2	ク	ク	ク		ク		ク	ク	ク							ク	ク	ク					→	
1	a	6	III		■		III	H	N		■					正	1	△					←	
順	糸	編目ダイアル カムボタン										スレッドボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	渡	L	K	
糸	チェンジレバー										チェンジレバー	選針ボタン	◇									リ	キ	キ
糸	カムボタン										チェンジレバー	反転レバー									ジ	ヤ	ヤ	
糸	チェンジレバー										スライドダイヤル	選針切替レバー									の	リ	リ	
糸											選針切替レバー									方向	の	方		
糸	キャリジ										パターンセンター								糸	向	向			

(1模様8目12段)

※ミゾ板の☒と◇のマーク部分のメリヤス針をA位置に残し、他のメリヤス針をB位置に出して編みます。



3. タ ッ ク 編

1目おきの鹿の子状に，交互にタック編した地味な感じの模様ですが，地模様としては味わいのある編地です。

婦人用のスーツにも，ラフな感じの，男子用プールオーバーにも向きましょう。

4	々	々	々	々					々	々	々										→					
3	々	々	々	々								反	々	々							←					
2	々	々	々	々								々	々	々							→					
1	a	5	I						I	ヒ	N	1	3	5	7	正	1	△			←					
順	糸	編目	ダイヤル	の	イヤル	糸	カムボタン								カム切替ツマミ	スレッドボタン	選針ボタン	反転レバー	スライドダイヤル	選針切替レバー	糸	L	K			
							カムボタン																	1	2	3
序	キャラジ											パターンセンター										糸	の	の	方向	方向

(1枚様2目4針)

※反転レバーとセットレバーの操作だけで編めます。



6. ホール編

ウツシを使わないで編む、レース編の風合を持った代表的な編地です。

これはカムボタンと編目ダイヤルを上手に併用して生まれた模様で、

素材により、サマーセーターなどに向きます。

8	カ	ク	ク			ク									ク	ク	ク				→
7	ク	5	ク												ク	ク	ク				←
6	ク	ク	ク	ク			ク	ク	ク						正	ク	ク				→
5	ク	9	ク				ク	ク	ク						ク	ク	ク				←
4	ク														ク	ク	ク				→
3	ク	5	ク				ク	ク	ク						ク	ク	ク				←
2	ク	ク	ク	ク			ク	ク	ク						反	ク	ク				→
1	a	9	I				I	H	N						正	1	△				←
順序	糸 口 の 糸	編目 ダイヤル	カムボタン					カム切替ツマミ		1 2 3 4 5 6 7 8								渡 し 糸	L K キ ヤ リ ジ の 方 向		
			カムボタン					カム切替ツマミ		選針ボタン 反転レバー スライドダイヤル 選針切替レバー											
キャリジ								パターンセンター													

(1枚様2目8段)



同時編込模様

編込模様も同時編により、能率的に編むことができます。

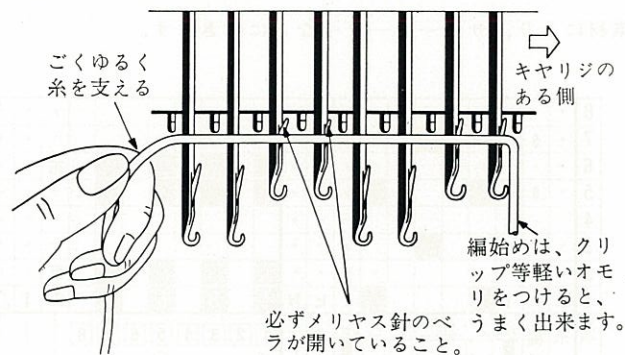
- (1)平編みを数段編み、キャリジを一旦左側で止めます。
- (2)キャリジのカム切替つまみを同時アミに合わせて、キャリジを右へ動かします。編針がD I位置に出ます。
- (3)キャリジのカムボタンのアミコミ左右を押します。
以下操作表に従って編みます。

* 渡し糸は必ずキャリジのある側から、クシ歯に近寄せて針の上に渡します。

* 糸を渡すとき、針のペラが閉じていますと編目が落ちますので開いて下さい。

* 渡し糸の端は、糸がたるまない程度にゆるく支えます。

* 選針切替レバーを▼に切替えて下さい。



糸口の糸と渡し糸が変わらない場合（2色だけの場合）は、スレッド糸口を使って編むことも出来ますので、スレッド編の項(42頁)を参照して下さい。

但し6本以上メリヤス針が並んで選針された場合は、渡し糸を手で渡して編んで下さい。

7. 同時編込模様 (その1)

この市松模様は反転レバー操作だけで編めます。

配色により、防寒コート、おしゃれコート、和服などと広範囲にご利用いただけます。

8	ク	ク			ク	ク	ク	ク						ク	ク	ク	ク	→			
7	ク	ク			ク	ク	ク	ク						ク	ク	ク	ク	←			
6	ク	ク			ク	ク	ク	ク						ク	ク	ク	ク	→			
5	ク	ク			ク	ク	ク	ク						反	ク	ク	ク	←			
4	ク	ク			ク	ク	ク	ク						ク	ク	ク	ク	→			
3	ク	ク			ク	ク	ク	ク						ク	ク	ク	ク	←			
2	ク	ク			ク	ク	ク	ク						ク	ク	ク	ク	→			
1	a	7	I					I	同	N	1	2		5	6		正	1	▼	イ	←

順 糸 口 の ダイヤル 糸 序	編目 チェンジ レバー	チェンジ ダイヤル	カム ボタン	チェンジ レバー	カム 切替 ツマミ ボタン	スレ ット ボタ ン	1	2	3	4	5	6	7	8	渡 し 糸	L	K
	ダイヤル	ダイヤル	ダイヤル	ダイヤル	ダイヤル	ダイヤル	1	2	3	4	5	6	7	8	キ	キ	リ

キャラジ		パターンセンター		渡	L	K
				し	キ	キ
					リ	リ
				糸	ジ	ジ
					の	の
					方	方
					向	向

(1模様4目 8段)



8. 同時編込模様 (その2)

大変にしゃれた色彩効果のある編地で、部分的に扱っても、総模様にしてもよい模様です。

一見煩雑なようですが、間違いなく手早く編むことができます。

男子用チョッキ、婦人用ツーピースなどに楽しくご利用下さい。

8	シ	々	々													4	5	6			々	々	〃	〃	→							
7	々	々	々													3	4		5	7			々	々	々	←						
6	〃	〃	〃													2	3		5	7	8			〃	〃	〃	→					
5	々	々	々													1	2		4	5	6		8	〃	〃	〃	←					
4	〃	〃	〃														2	3		5		7	8	〃	〃	〃	→					
3	々	々	々														3	4		6	7			〃	〃	〃	←					
2	々	々	々																4	5	6			〃	〃	〃	→					
1	a	7	I																								←					
順	糸口 の 糸	編目 ダイヤル	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	カム切替ツマミ	スレッドボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	渡	L キ ヤ リ ジ の 方 向	K キ ヤ リ ジ の 方 向				
			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■														■	■	■	■
序		糸	カムボタン											パターンセンター																		

(1模様8目 8段)



9. 同時編込模様 (その3)

この編込模様は、反転レバー反を利用し、選針ボタンを有効に使用した代表的な柄で、配色により、広くご利用していただける柄です。

27	→				→	*	*	*	*								7	→	*	*	*	*	→	
26	→	*	*	*	*	*	*	*	*									→	*	*	*	*	→	
25	→	*	*	*	*	*	*	*	*									→	*	*	*	*	→	
24	→	*	*	*	*	*	*	*	*	1						5	→	*	*	*	*	→		
23	→	*	*	*	*	*	*	*	*								7	→	*	*	*	*	→	
22	→	*	*	*	*	*	*	*	*									→	*	*	*	*	→	
21	→	*	*	*	*	*	*	*	*	1						5	6	8	→	*	*	*	*	→
20	→	*	*	*	*	*	*	*	*										→	*	*	*	*	→
19	→	*	*	*	*	*	*	*	*										→	*	*	*	*	→
18	→	*	*	*	*	*	*	*	*										→	*	*	*	*	→
17	→	*	*	*	*	*	*	*	*	8	3				5	6	7	8	→	*	*	*	*	→
16	→	*	*	*	*	*	*	*	*		2	4							→	*	*	*	*	→
15	→	*	*	*	*	*	*	*	*										→	*	*	*	*	→
14	→	*	*	*	*	*	*	*	*										→	*	*	*	*	→
13	→	*	*	*	*	*	*	*	*	1	2								→	*	*	*	*	→
12	→	*	*	*	*	*	*	*	*										→	*	*	*	*	→
11	→	*	*	*	*	*	*	*	*										→	*	*	*	*	→
10	→	*	*	*	*	*	*	*	*										→	*	*	*	*	→
9	→	*	*	*	*	*	*	*	*	2									→	*	*	*	*	→
8	→	*	*	*	*	*	*	*	*		2	3							→	*	*	*	*	→
7	→	*	*	*	*	*	*	*	*										→	*	*	*	*	→
6	→	*	*	*	*	*	*	*	*	3	4	5							→	*	*	*	*	→
5	→	*	*	*	*	*	*	*	*										→	*	*	*	*	→
4	→	*	*	*	*	*	*	*	*										→	*	*	*	*	→
3	→	*	*	*	*	*	*	*	*										→	*	*	*	*	→
2	→	*	*	*	*	*	*	*	*										→	*	*	*	*	→
1	a	7	l						1	同	N						6	7	反	1	▼	イ	←	
順	糸	編	目	の	目	ダイヤ	カム	ボタン	ス	レ	ッ	ド	ボ	タン	1	2	3	4	5	6	7	8	渡	K
順	糸	編	目	の	目	ダイヤ	カム	ボタン	ス	レ	ッ	ド	ボ	タン	選針ボタン								L	キ
順	糸	編	目	の	目	ダイヤ	カム	ボタン	ス	レ	ッ	ド	ボ	タン	反転レバー								リ	ジ
順	糸	編	目	の	目	ダイヤ	カム	ボタン	ス	レ	ッ	ド	ボ	タン	スライドダイヤル								の	方
順	糸	編	目	の	目	ダイヤ	カム	ボタン	ス	レ	ッ	ド	ボ	タン	選針切替レバー								向	
序	キャリジ												パターンセンター										糸	

(145)H8(127)(2)

※この場合、押してあるボタンの他の位置の編針が選針されます。

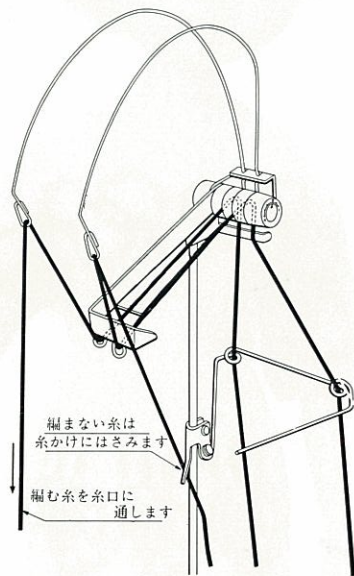


配色編をするときの

糸口糸の切換え方(編込模様など)

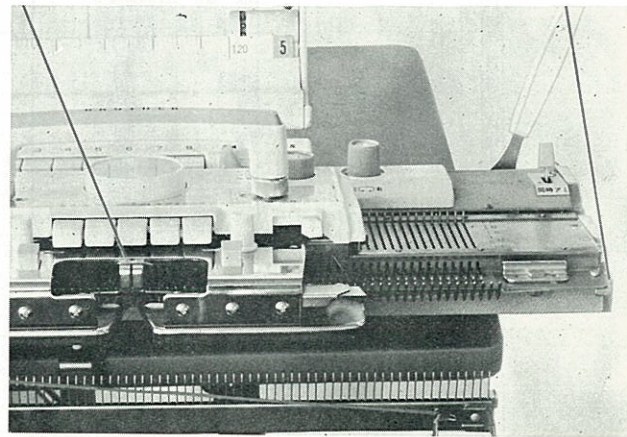
★図のように2本の糸を糸取装置に通します。

最初に編む糸を糸口に通し、他の糸は糸端を糸かけにはさんでおきます。



糸を切換えるときは……

糸口の糸をはずして、ミゾ板の端にかけて休ませ、次に編む糸を糸口に通します。



10. すべり目編

2段にすべり目にし、裏目にすべった糸が模様として浮き上がりますので、生地風の風合を持った落ち付いた模様です。

毎段、選針の位置が変わりますが、スライドダイヤルがそのよさを発揮いたします。

婦人用ツーピース、和服トッパーなどに最適です。



14	ク	ク	ク			ク	ク	ク	ク									ク	2	ク								→											
13	ク	ク	ク			ク	ク	ク	ク									ク	3	ク									←										
12	ク	ク	ク			ク	ク	ク	ク									ク	4	ク									→										
11	ク	ク	ク			ク	ク	ク	ク									ク	5	ク									←										
10	ク	ク	ク			ク	ク	ク	ク									ク	6	ク									→										
9	ク	ク	ク			ク	ク	ク	ク									ク	7	ク									←										
8	ク	ク	ク			ク	ク	ク	ク									ク	8	ク									→										
7	ク	ク	ク			ク	ク	ク	ク									ク	7	ク									←										
6	ク	ク	ク			ク	ク	ク	ク									ク	6	ク									→										
5	ク	ク	ク			ク	ク	ク	ク									ク	5	ク									←										
4	ク	ク	ク			ク	ク	ク	ク									ク	4	ク									→										
3	ク	ク	ク			ク	ク	ク	ク									ク	3	ク									←										
2	ク	ク	ク			ク	ク	ク	ク									ク	2	ク									→										
1	a	7	1						1	ヒ	N	1	2						5	6							正	1	△	←									
順	糸口 の 糸	編目 グエン ジレバ ー	カム ボタン	カム 切替 ツマミ	スレ ット ボタ ン	1	2	3	4	5	6	7	8	波	L	K	キ	ヤ	リ	ジ	の	方	向	糸	向	1 2 3 4 5 6 7 8 ⊗ 選針ボタン ◇ 反転レバー ——— スライドダイヤル ——— 選針切替レバー													
																										序	キャリジ	パターンセンター											

(1模様4目14段)

※スライドダイヤルとセットレバーの操作で編めます。

糸取装置に糸口の糸と渡し糸を通しておきます。

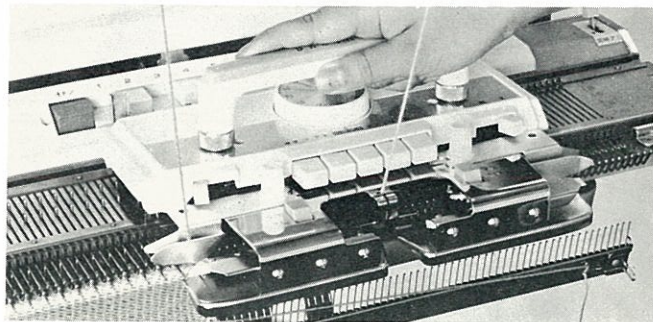
選針ボタンの1・3・5・7を押し、選針切替レバーを△印に合わせておきます。

- 順序1) イ) 反転レバーを正にして選針します。
ロ) 糸取装置の渡し糸を持ってキャリジの左側(進む側)のスレッド糸口に入れます。
ハ) (2回目からは順序2のロ)と同じ操作になります)
ハ) キャリジを左へ動かします。

- 順序2) イ) 反転レバーを反にして選針します。
ロ) 渡し糸をスレッド糸口と編地押エから、はずしてキャリジの反対側に回し、編地の端から直接糸取装置につながる状態にしておきます。
ハ) キャリジを右へ動かします。

(渡し糸は自動的に、スレッド糸口に入るようになっていますが、キャリジを動かす前に確認するように習慣づけて下さい。)

以下(1)、(2)を繰り返します。



12. スレッド編 (その2)

スレッド編を横じまに扱った模様で、横の伸びがありませんので、おしゃれ着のコート、スーツなどに向く編地です。

16	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃														→	
15	〃	〃	〃		〃	〃	〃															←
14	〃	〃	〃	〃		〃	〃															→
13	〃	〃	〃	〃		〃	〃															←
12	〃	〃	〃	〃		〃	〃															→
11	〃	〃	〃	〃		〃	〃															←
10	〃	〃	〃	〃		〃	〃															→
9	〃	〃	〃	〃		〃	〃															←
8	〃	〃	〃	〃		〃	〃															→
7	〃	〃	〃	〃		〃	〃															←
6	〃	〃	〃	〃		〃	〃															→
5	〃	〃	〃	〃		〃	〃															←
4	〃	〃	〃	〃		〃	〃															→
3	〃	〃	〃	〃		〃	〃															←
2	〃	〃	〃	〃		〃	〃															→
1	a	6	1																			←
順	糸 口 の 糸 a	編 目 ダイ ヤル	子 エン ジレ バー	子 エン ジレ バー	カム ボタ ン	カム 切替 ツマ ミ	ス レ ッ ド 編 地 の ボ タ ン	1 2 3 4 5 6 7 8								渡 糸	L キ ヤ リ ジ の 方 向	K キ ヤ リ ジ の 方 向				
								パターンセンター														

(1模様4目16段)



※ { 糸口の糸a……………中 細
スレッド糸イ……………中 細

14. スレッド編（その4）

このように複雑な模様も、ブラザー編機独自の選針装置とスレッド装置の併用で、平編と変らぬ早さで編むことができます。

スレッド糸に変化のある素材を用いると、面白い感じの柄になります。婦人用ツーピースなどにご利用下さい。

6	ス	ス	ス			ス			ス		ス	ス									2	ス	ス	→
5	ス	ス	ス			ス		ス	ス	ス											3	ス	ス	←
4	ス	ス	ス			ス		ス	ス	ス											4	ス	ス	→
3	ス	ス	ス			ス		ス	ス	ス											3	ス	ス	←
2	ス	ス	ス			ス		ス	ス	ス											2	ス	ス	→
1	a	6	l			l	ス	l	ス	T	1	3	5		正	1	△				イ		←	
順	糸口 の糸	編目ダイヤル	子エンジンレバー	カムボタン	子エンジンレバー	カム切替ツマミ	スレッドボタン	1	2	3	4	5	6	7	8				渡	L	K	糸	方向	
		子エンジンレバー	カムボタン	子エンジンレバー	カム切替ツマミ	スレッドボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	選針ボタン	反転レバー	スライドダイヤル	選針切替レバー	し	リ	ジ			の
序	キャリジ						パターンセンター																	

(1板様8目 6段)

※ { 糸口の糸a……………中 細
スレッド糸イ……………中 細



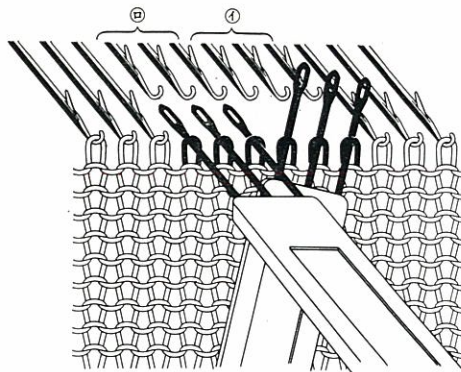
15. な わ 編 (交差模様)

機械は平編の状態にセットします。編目記号に従い9段平編しては図のように交差します。

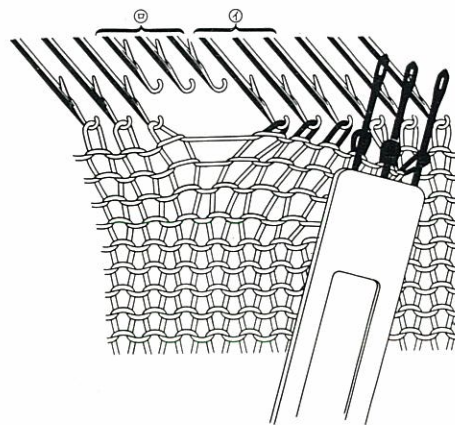
2模様毎になわ編の両側を1目ずつ裏目に直します。

(49ページゴム編の項参照)

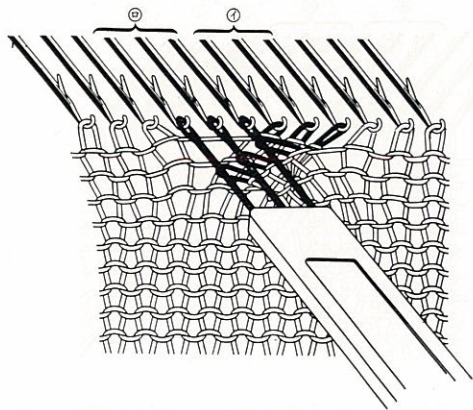
			-						-			
			-						-			
			-						-			
10			-						-			
9			-						-			
8			-						-			
7			-						-			
6			-						-			
5			-						-			
4			-						-			
3			-						-			
2			-						-			
1			-						-			
			-						-			
			-						-			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12



(1) 交差する編目を3目ずつウツシに移し取ります。



(2) ②の編目を①の空針に移します。

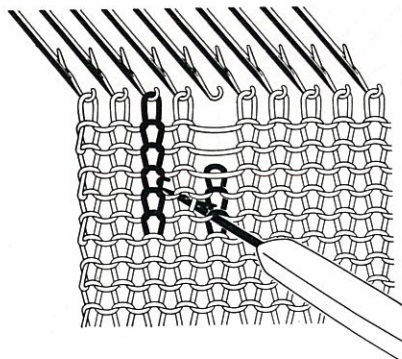


(3) ①の編目を②の空針に移します。

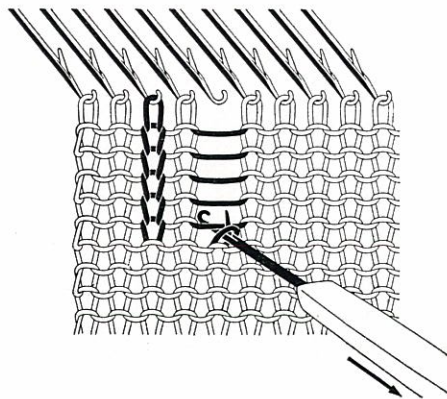


16. ゴム編

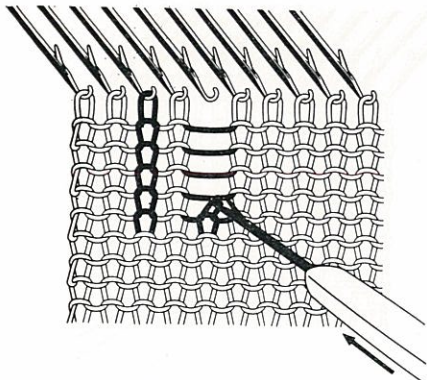
	-		-		-		-		-		-		-		-		-		-
	-		-		-		-		-		-		-		-		-		-
	-		-		-		-		-		-		-		-		-		-
	-		-		-		-		-		-		-		-		-		-
	-		-		-		-		-		-		-		-		-		-
	-		-		-		-		-		-		-		-		-		-
	-		-		-		-		-		-		-		-		-		-
	-		-		-		-		-		-		-		-		-		-
	-		-		-		-		-		-		-		-		-		-
	-		-		-		-		-		-		-		-		-		-



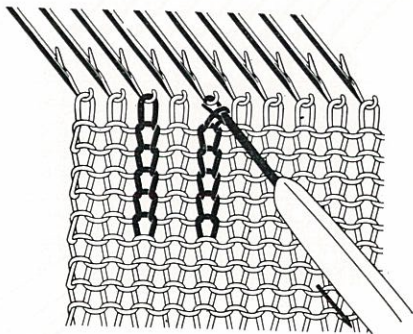
- (1) 裏目に直す編目の少し上までとき、裏目の始めの編目にタッピを入れ、編地を下に引き、残りの編目をときます。



- (2) タッピの編目をべらの後に移し、上の段の横糸をフックにかけ、タッピを引いて編目を作ります。



(3) 更に上の横糸の下にタッピを差し込みます。



(4) (2)(3)をくり返し最後の編目を編針に移します。



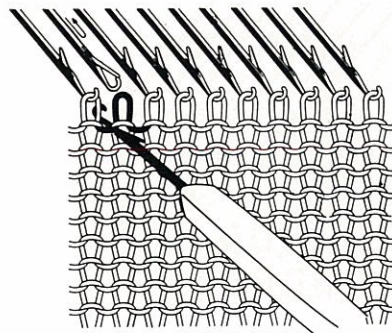
17. ガーター編

機械は平編の状態にセットします。

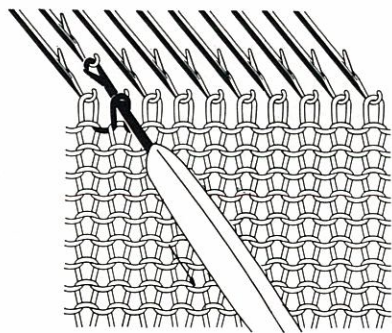
編目記号図にしたがい、タッピを使って1段毎に裏目に直
します。

15																			
14																			
13																			
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11																			
10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9																			
8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7																			
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5																			
4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3																			
2																			
1																			

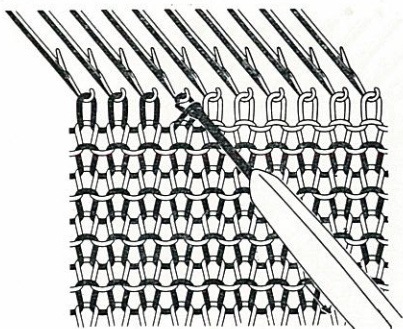
ガ
ー
タ
ー
編



- (1) 1段下の編目にタッピを入れ、メリヤス針の編目をはず
します。



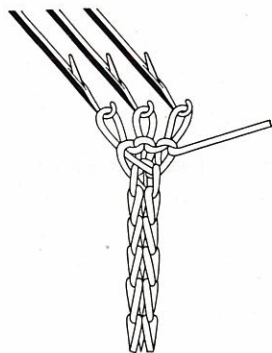
- (2) 1段といた編目をタッピで編み、メリヤス針に移します。



(3) (1), (2)の操作を1段おきにくり返します。



18. ひもも編



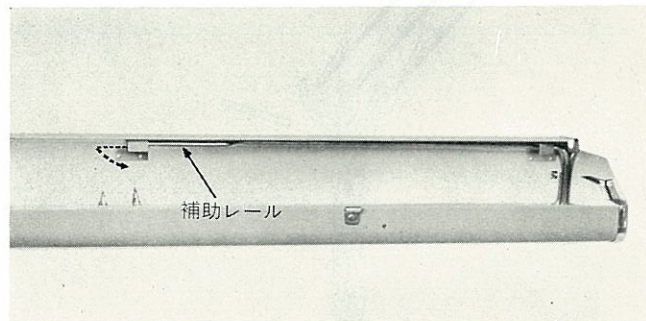
- (1) ひも編するメリヤス針を3目～4目出して巻き目で作り目をします。
- (2) 目をきれいにするために編目ダイヤルを標準より小さく合わせます。
- (3) カムボタンのアミコミ右(または左)を押して編みます。

L キャリジを使ったレース編

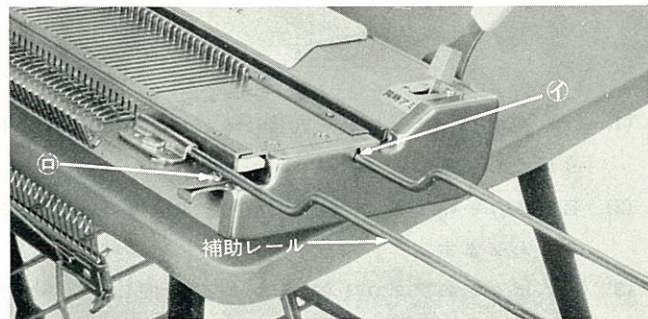


★L キャリジはパターンセンターの操作と組合わせて、レース編を編むのに用います。

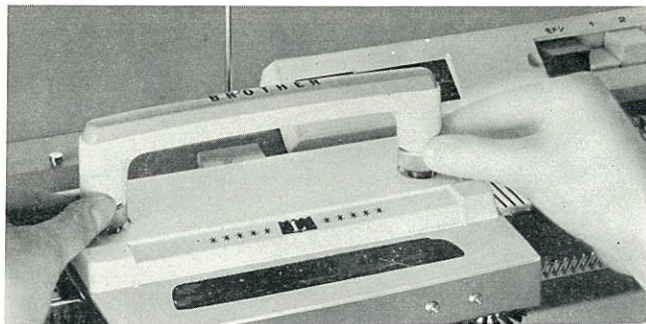
1. 準備



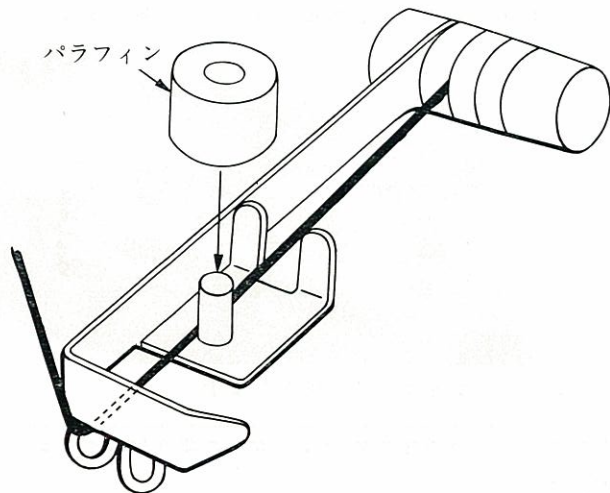
(1) ケースから矢印のように補助レールをはずします。



(2) 補助レールを編機の端にある穴①と金具②の下に差し込みます。

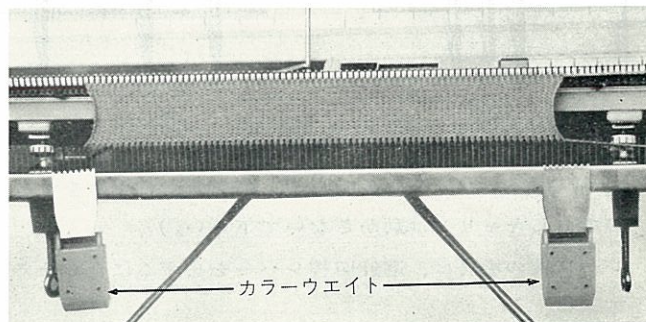


(3) L キャリジにハンドルを取り付けます。



《レース糸、サマーヤーンなどを使用するときは、パラフィンを糸取装置に取り付けます。》

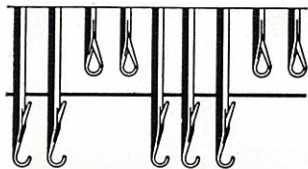
2. L キャリジの使い方



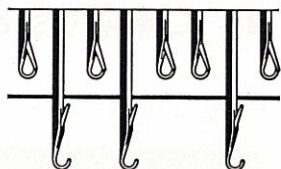
(1) 平編を数段編み、編出しにカラーウエイトをかけます。

使用糸	ダイヤル目盛
極細毛糸	4 ~ 5
中細毛糸	5 ~ 6
綿・化繊レース糸	4 ~ 5

(2) 編目ダイヤルを上の方のように合わせます。



(悪い)

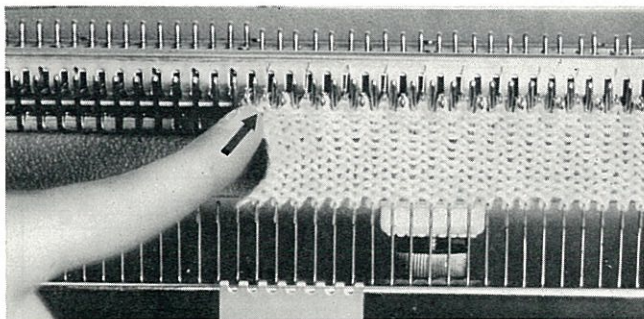


(良い)

(3) パターンセンターを使って選針します。

(メリヤス針が2本並んで選針されると、編めませんので、Lキャリジは動かさないで下さい。)

レース編の場合は、選針切替レバーを必ず△に合わせて下さい。



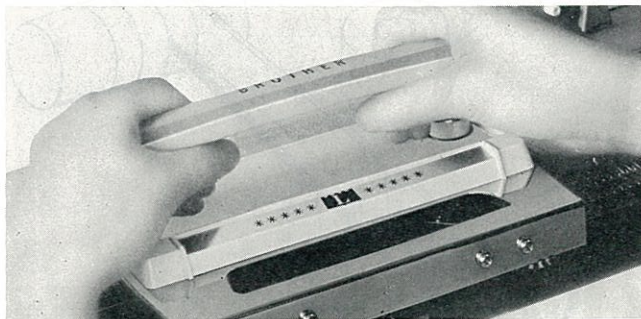
※一番端のメリヤス針が選針されたときは、必ず指で押し戻します。

(そのまま編みますと編目が落ちたり、編巾が減ったりします。)



(4) Lキャリジを取り付けます。

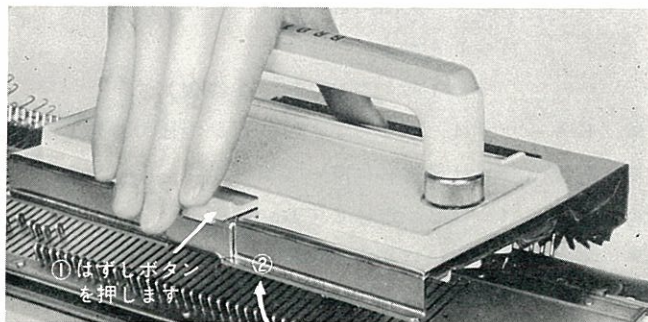
(取り付けるとき、後側が上らないか確かめて下さい。)



(5) Lキャリジをゆっくり動かします。

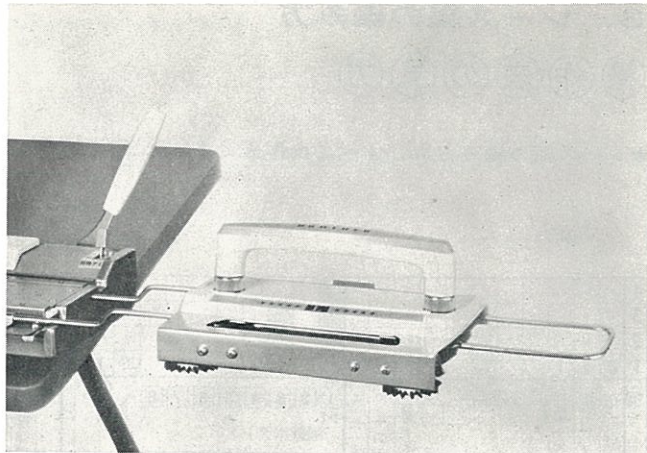
Lキャリジが途中で動かなくなった場合は83ページをご覧ください。

- (6) 本機のキャリジで編みます。これでレース編ができます。



〈Lキャリジのはずし方〉

(Lキャリジをはずしたとき、クシバに糸がかかった場合は、はずして下さい。)



※補助レールの上にLキャリジを直接のせるときは、写真のように正しくのせて下さい。

〈レース模様 1〉

最も基本的なレース模様です。

L キャリジの方向により、編地は写真のように傾きますが、それを上手に利用した模様です。

婦人、子供用の上衣に、おしゃれのショールなどにいかがでしょう。

順序 1) ①, ⑤の選針ボタンを押し、スライドダイヤルはそのままにしてセットレバーを倒します。

(端の針が出ていたら指で押し戻して下さい。)

L キャリジを、編地の左端から右端までゆっくり動かします。

(もし途中で動かなくなったら76ページをご覧ください。)

K キャリジで2段(1往復)編みます。

12	ク	ク	ク		ク	ク	ク						ク	ク	ク	→
11	ク	ク	ク		ク	ク	ク						ク	ク	ク	→
10	ク	ク	ク		ク	ク	ク						ク	ク	ク	→
9	ク	ク	ク		ク	ク	ク						ク	ク	ク	→
8	ク	ク	ク		ク	ク	ク						ク	ク	ク	→
7	ク	ク	ク		ク	ク	ク						ク	ク	ク	→
6	ク	ク	ク		ク	ク	ク						ク	ク	ク	→
5	ク	ク	ク		ク	ク	ク						ク	ク	ク	→
4	ク	ク	ク		ク	ク	ク						ク	ク	ク	→
3	ク	ク	ク		ク	ク	ク						ク	ク	ク	→
2	ク	ク	ク		ク	ク	ク						ク	ク	ク	→
1	a	5	1										正	1	△	→

順 糸 口 の 糸 序	編目ダイヤル	カムボタン	スレッドボタン	選針ボタン	反転レバー	スライドダイヤル	選針切替レバー	渡 糸		
	子エンシレバー	子エンシレバー	カム切替ツマミ	1	2	3	4		5	6
キャリジ			パターンセンター					L K キャリジの方向		

(1模様4目24段)

順序 2) }
 順序 3) } 順序 1と
 順序 4) } 同じ。
 順序 5) }
 順序 6) }

順序 7) 選針ボタンは、そのままです。セットレバーで選針します。L キャリジを編地の右端から左端までゆっくり動かします。K キャリジで2段編みます。

順序 8) }
 順序 9) } 順序 7と
 順序 10) } 同じ。
 順序 11) }
 順序 12) }



《レース模様2》

選針ボタンを押し変え、Lキャリジを1往復して編んだ菱形状の模様です。

なじみ易い模様ですから、絵模様には、或いは部分的に巾ひろくご利用下さい。

12	ク	ク	ク		ク			ク	ク	ク									ク	ク	ク	←	↺
11	ク	ク	ク		ク						3								ク	ク	ク	→	↻
10	ク	ク	ク		ク			ク	ク	ク			6					ク	ク	ク	ク	←	↺
9	ク	ク	ク		ク						2								ク	ク	ク	→	↻
8	ク	ク	ク		ク			ク	ク	ク									ク	ク	ク	←	↺
7	ク	ク	ク		ク														ク	ク	ク	→	↻
6	ク	ク	ク		ク			ク	ク	ク	1								ク	ク	ク	←	↺
5	ク	ク	ク		ク			ク	ク	ク									ク	ク	ク	→	↻
4	ク	ク	ク		ク						2								ク	ク	ク	←	↺
3	ク	ク	ク		ク			ク	ク	ク									ク	ク	ク	→	↻
2	ク	ク	ク		ク			ク	ク	ク		3							ク	ク	ク	←	↺
1	a	5	I					I	H	N				5				正	1	△		→	↻
順	編 目 の 糸	ス レ ッ ト ボ タ ン	カム切替ツマミ	スレ ッ ト ボ タ ン	カム切替ツマミ	スレ ッ ト ボ タ ン	カム切替ツマミ	スレ ッ ト ボ タ ン	カム切替ツマミ	スレ ッ ト ボ タ ン	カム切替ツマミ	スレ ッ ト ボ タ ン	カム切替ツマミ	スレ ッ ト ボ タ ン	カム切替ツマミ	スレ ッ ト ボ タ ン	カム切替ツマミ	スレ ッ ト ボ タ ン	カム切替ツマミ	スレ ッ ト ボ タ ン	カム切替ツマミ	スレ ッ ト ボ タ ン	カム切替ツマミ
序	キャリジ	パターンセンター										渡 糸	L K の 方 向										

(1模様8目12段)



《レース模様 3》

縦縞模様のスッキリした編地ですが、用いる素材により相当違った感じにでき上ります。

婦人、子供用プルオーバー、ワンピースはもちろん、カーテン、テーブルセンターなどをお作りになって、サマーライフをお楽しみ下さい。

12	ク	ク	ク		ク		ク	ク	ク						ク	ク	ク			←																																				
11	ク	ク	ク		ク		ク	ク	ク	ク					ク	ク	ク			→																																				
10	ク	ク	ク		ク		ク	ク	ク	ク					ク	ク	ク			←																																				
9	ク	ク	ク		ク		ク	ク	ク	ク					ク	ク	ク			→																																				
8	ク	ク	ク		ク		ク	ク	ク	ク					ク	ク	ク			←																																				
7	ク	ク	ク		ク		ク	ク	ク	ク					ク	ク	ク			→																																				
6	ク	ク	ク		ク		ク	ク	ク	ク					ク	ク	ク			←																																				
5	ク	ク	ク		ク		ク	ク	ク	ク					ク	ク	ク			→																																				
4	ク	ク	ク		ク		ク	ク	ク	ク					ク	ク	ク			←																																				
3	ク	ク	ク		ク		ク	ク	ク	ク					ク	ク	ク			→																																				
2	ク	ク	ク		ク		ク	ク	ク	ク					ク	ク	ク			←																																				
1	a	5	I				I	H	N						正	1	△			→																																				
順序	糸口 の 糸	編目 ダイヤル の 糸	カムボタン										カム切替 ツマミ ボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	選針ボタン	反転レバー	スライドダイヤル	選針切替レバー	L	K	キ	ヤ	リ	ジ	の	方	向																						
			ス	レ	ッ	ド	ボ	タ	ン	選	針	ボ																							タ	ン	反	転	レ	バ	ー	ス	ラ	イ	ド	ダ	イ	ヤ	ル	選	針	切	替	レ	バ	ー
			カムボタン																																ス	レ	ッ	ド	ボ	タ	ン	選	針	ボ	タ	ン	反	転	レ	バ	ー	ス	ラ	イ	ド	ダ
キヤリジ										パターンセンター										糸																																				

(1模様8目12段)

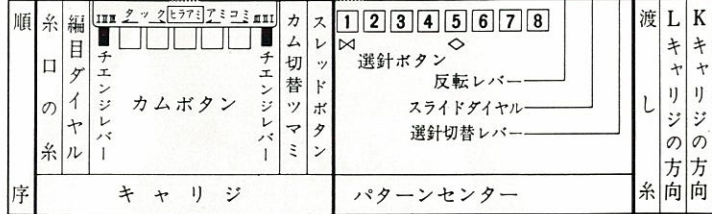


〈レース模様 4〉

選針ボタンは、1を押したままですが、スライドダイヤルの移動により、とても簡単に編める模様です。

色を変えて家中のサマーセーターなどにご利用いただきドライブにでもお楽しみ下さい。

16	く	く	く		く	く	く														5	く	←	↺	
15	く	く	く		く	く	く														4	く	→	↻	
14	く	く	く		く	く	く														6	く	←	↺	
13	く	く	く		く	く	く														7	く	→	↻	
12	く	く	く		く	く	く														3	く	←	↺	
11	く	く	く		く	く	り	く													6	く	→	↻	
10	く	く	く		く	く	く	く													4	く	←	↺	
9	く	く	く		く	く	く	く													5	く	→	↻	
8	く	く	く		く	く	く	く													1	く	←	↺	
7	く	く	く		く	く	く	く													8	く	→	↻	
6	く	く	く		く	く	く	く													2	く	←	↺	
5	く	く	く		く	く	く	く													3	く	→	↻	
4	く	く	く		く	く	く	く													7	く	←	↺	
3	く	く	く		く	く	く	く													2	く	→	↻	
2	く	く	く		く	く	く	く													8	く	←	↺	
1	a	5	I		I	ヒ	N	I													正	1	△	→	↻



(1模様8目20段)

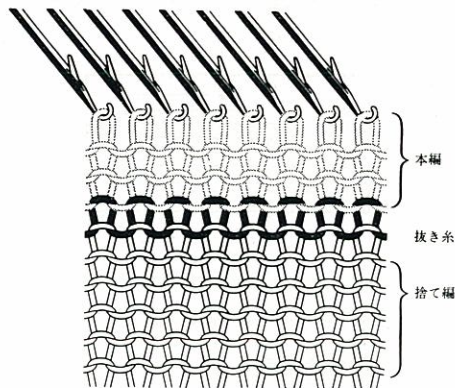


* 作品を編むために *



★編物の形をつくるための操作です。

1. 捨 て 編



★製品（セーター、カーディガンなど）を編む前、または製品を機械からはずす前などに余分に編む（平編）部分を捨て編と云います。

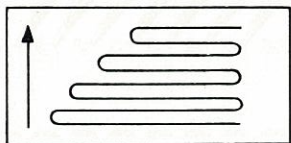
捨て編と本編の間は、一段抜き糸（付属品）で編んでおきます。

抜き糸を抜き取りますと、本編と捨て編の部分は切り離されます。

2. 平編の引返し編

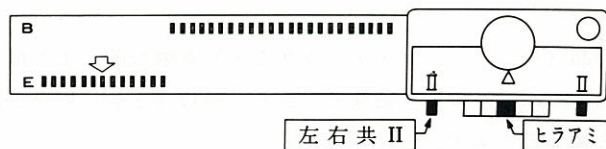
編む部分を

減らして行く場合



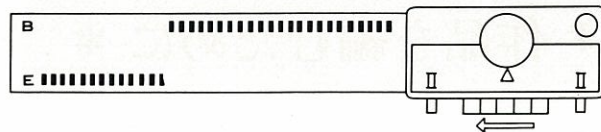
肩下がり、袖山など傾斜した編地を編むときに使います。

チェンジレバーをIIにします。



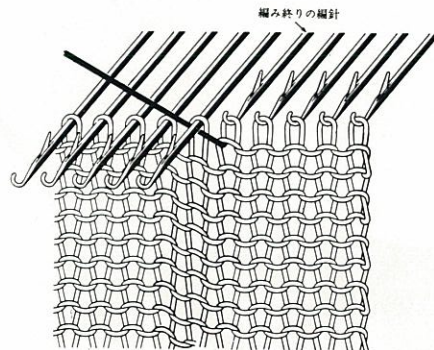
- (1) キャリジと反対側の休める部分のメリヤス針を、E位置に出します。

《注》メリヤス針の数は、カーブや傾斜の形によって変わります。

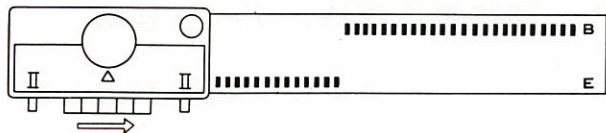


- (2) 一段編みます。

B位置のメリヤス針が編めて、E位置に出したメリヤス針の上に糸が渡ります。



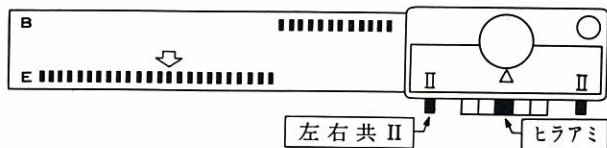
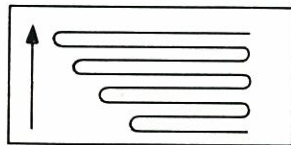
- (3) 引き返した部分に穴ができないようにするため、編み終りのとなりのE位置メリヤス針に、下側から渡った糸をくぐらせます。



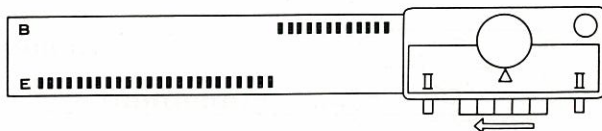
- (4) キャリジを引返し一段編みます。休めるメリヤス針を増しながら(1), (2), (3), (4)をくり返しますと、引返し編ができます。

※引返し編が終って、全体のメリヤス針を編みたいときは、チェンジレバーをIに切り替えて編みます。

編む部分を増して行く場合

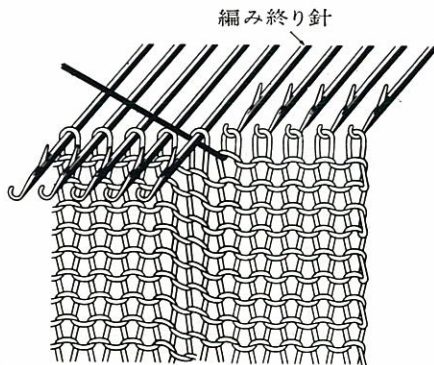


- (1) キャリジと反対側の、休める部分のメリヤス針をE位置に出します。

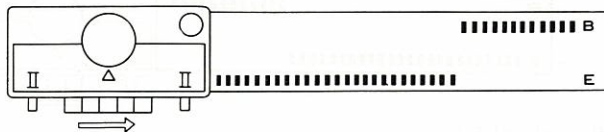


- (2) 一段編みます。

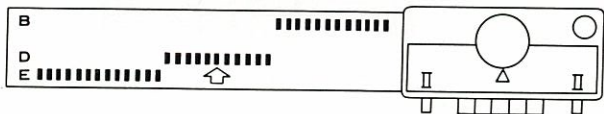
B位置のメリヤス針が編めて、E位置に出したメリヤス針の上に糸が渡ります。



- (3) 引き返した部分に穴ができないようにするため、編み終りのとなりのE位置メリヤス針に、下側から渡った糸をくぐらせます。



- (4) キャリジを引返し、一段編みます。



- (5) 次に編むE位置のメリヤス針をD位置に押し下げます。
 (2)~(5)をくり返しますと、最後に全部のメリヤス針がB位置に並び、引返し編ができます。

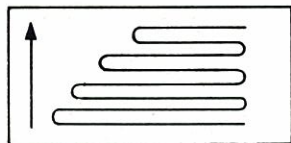
3 同時編込模様、すべり目編、 スレッド編の引返し編

- (1) キャリジのチェンジレバーを左右共IIに切り替え（他はその編み方のまま）休める部分のメリヤス針をE位置に出します。
- (2) 操作表により選針し、（渡し糸をかけ）一段編みます。
- (3) 引き返す部分に穴ができないように編糸（渡し糸も）を編み終りの隣りのE位置針にかけます。
- (4) (2)と同じように一段編みます。

4. 引上編の引返し編

編む部分を

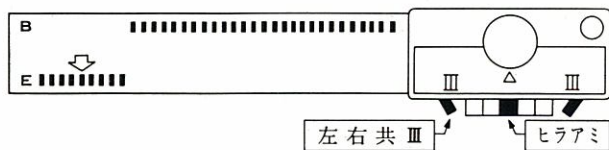
減らして行く場合



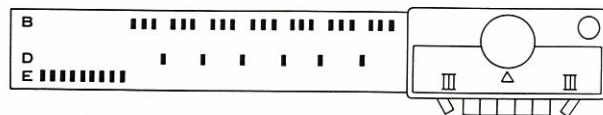
ここでは選針の引上編2段、平編2段の編地で2段毎に引き返す場合を説明してみます。

平編のカムボタンを押し、チェンジレバーを左右共Ⅲにします。

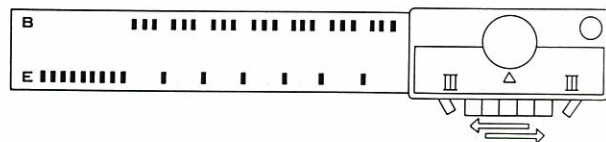
1と5の選針ボタンを押しておきます。



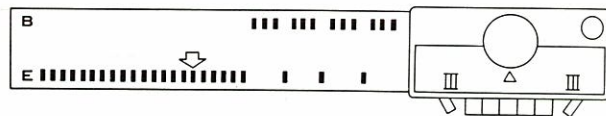
- (1) キャリジと反対側の休める部分のメリヤス針をE位置に出します。



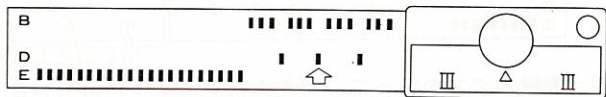
- (2) 選針ボタンを使って、引き上げるメリヤス針をD位置に選針します。



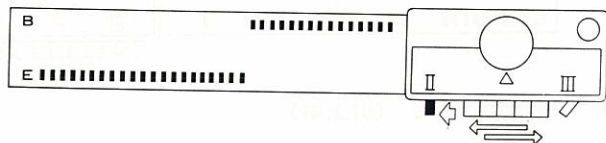
- (3) 2段編みます。(引上編)
(一段編んだとき、E位置の端のメリヤス針に編糸をかけて下さい。平編の引き返しと同じ操作をします。)



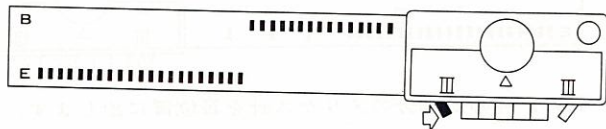
- (4) 次に、休める部分のメリヤス針をE位置に出します。



- (5) 引き上げたメリヤス針をE位置からD位置に押し下げます。

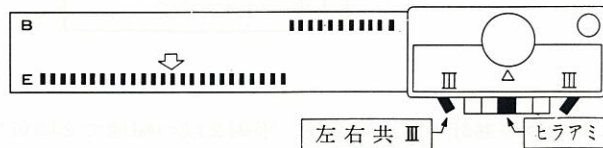
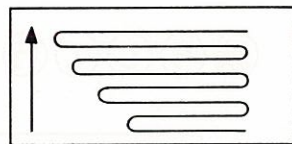


- (6) 進行方向のチェンジレバーをIIにしてから2段編みます。
(平編)
(一段編んだとき、E位置の端のメリヤス針に編糸をかけて下さい。)

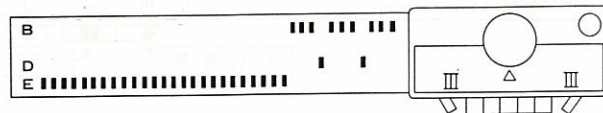


- (7) チェンジレバーをIIIに戻します。
(1)~(7)を繰り返します。

編む部分を増して行く場合



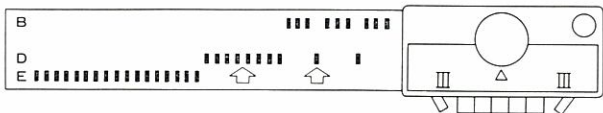
- (1) キャリジと反対側の休める部分のメリヤス針をE位置に出します。



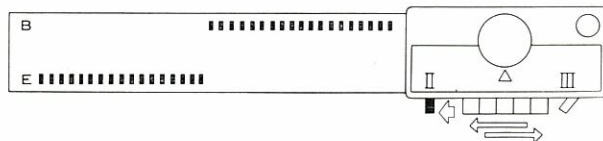
- (2) 選針ボタンを使って、引き上げるメリヤス針をD位置に選針します。

(3) 2段編みます。

(一段編んだとき、E位置の端のメリヤス針に編糸をかけて下さい。平編の引き返しと同じ操作をします。)

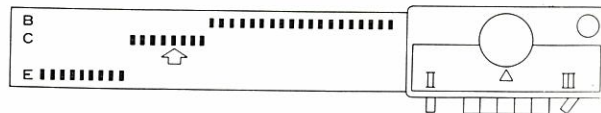


(4) 引き上げたメリヤス針と、次に編む部分のメリヤス針をE位置からD位置に押し下げます。

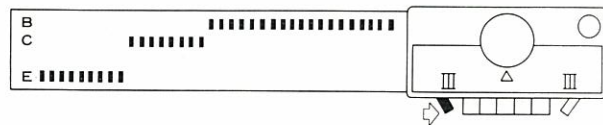


(5) 進行方向のチェンジレバーをIIにしてから2段編みます。
(平編)

(一段編んだとき、E位置の端のメリヤス針に編糸をかけて下さい。)



(6) 次に、編む部分のメリヤス針をC位置に戻します。



(7) チェンジレバーをIIIに戻します。

(2)~(7)を繰り返します。

5. タック編の引返し編

ここではタック編（1目おきの鹿の子）で、2段毎に引き返す場合の説明をします。

キャリジが右にあるときは、タック左のカムボタン

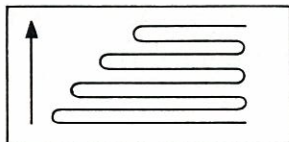
キャリジが左にあるときは、タック右のカムボタン

を押し、チェンジレバーは左右共IIにします。

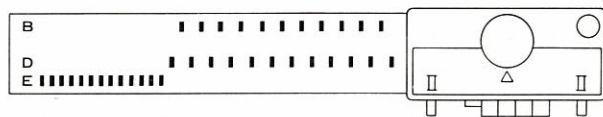
1, 3, 5, 7の選針ボタンを押しておきます。

編む部分を

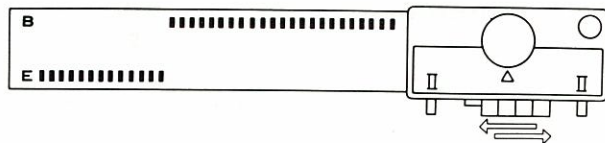
減らして行く場合



- (1) キャリジと反対側の休める部分のメリヤス針をE位置に出します。

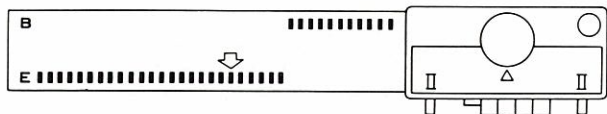


- (2) 反転レバーを正にして選針します。

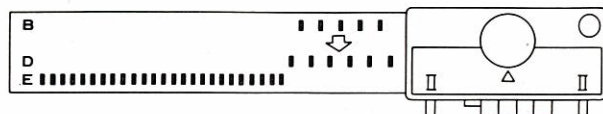


- (3) 2段編みます。

(一段編んだとき、E位置の端のメリヤス針に編糸をかけて下さい。平編の引き返しと同じ操作をします。)

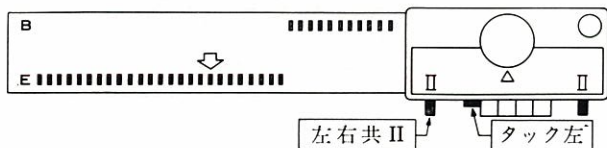
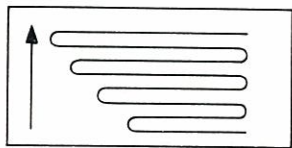


- (4) 次に休めるメリヤス針をE位置に出します。
 (2)のところで反転レバーを正～反交互に切替えて選針し
 (2)～(4)を繰り返します。

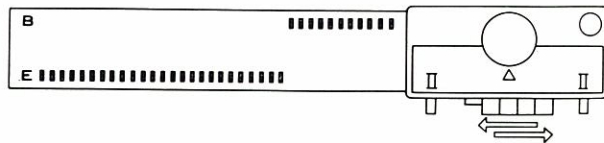


- (2) 反転レバーを正にして選針します。

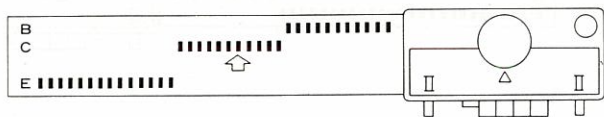
編む部分を増して行く場合



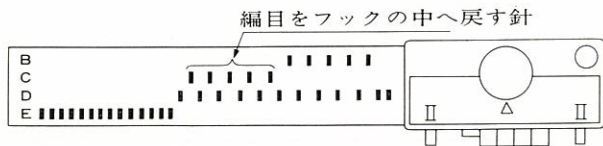
- (1) キャリジと反対側の休める部分のメリヤス針をE位置に出します。



- (3) 2段編みます。
 (一段編んだとき、E位置の端のメリヤス針に編糸をかけて下さい。)

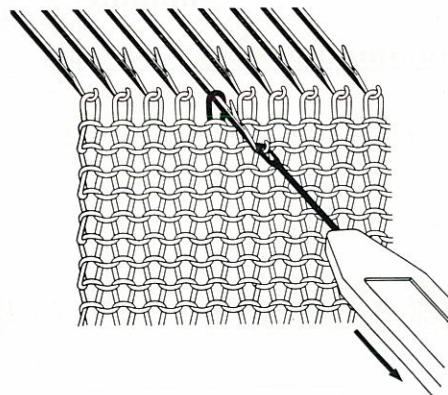


(4) 次に編む部分のメリヤス針をC位置に押し下げます。

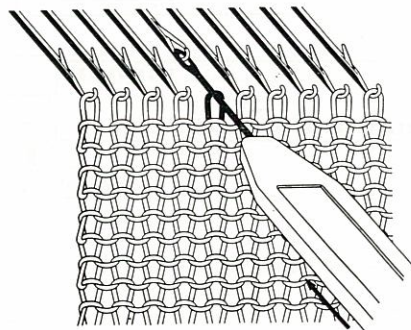


- (5) 反転レバーを反にして選針します。
- (6) C位置に残ったメリヤス針の編目を，ウツシを使ってフックの中へ戻し，そのメリヤス針をB位置に並べます。
- (7) (5)のところで反転レバーを正—反交互に切りかえて選針し(3)~(6)を繰り返します。

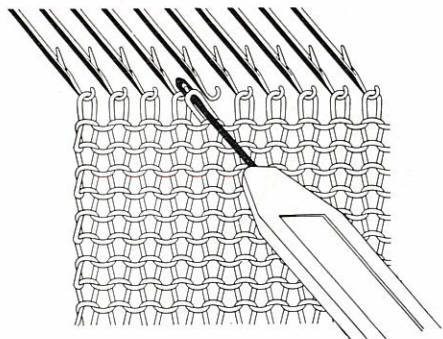
《編目のうつし方》



(1) メリヤス針フックにウツシの穴をかけて、矢印の方向に引き、編目をべらの向うに移します。



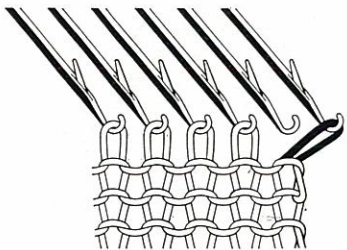
(2) 逆に押すと編目は，うつしに移ります。



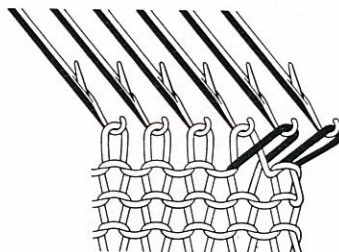
- (3) 編目記号（人）のメリヤス針フックにウツシの穴をかけ、編目をメリヤス針に移します。

6. 増し目

①目立てる増し目



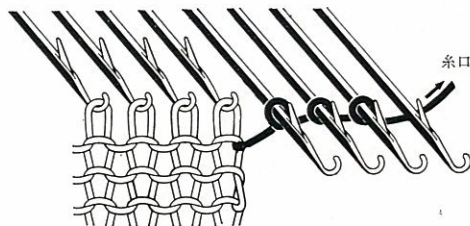
- (1) 端の1目をうつしとり、1目外側にずらせます。



- (2) 2番目の1段下のループをウツシで引き上げ空針にかけます。

①度に②目以上の増し目

（巻き目）

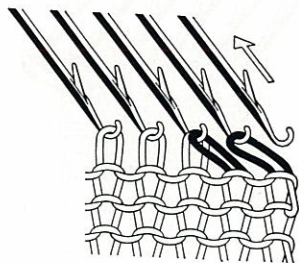


★キャリジのある側で増し目するときに用います。

増し目するメリヤス針をE位置に出し、巻き目し、最後の目はメリヤス針を出さずだけで編みます。

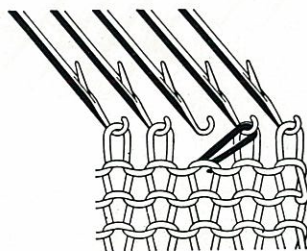
7. 減らし目

① 端から1目内側の減らし目

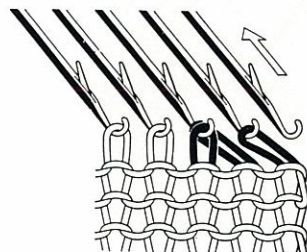


★ 2本針のウツシを使って、端から2目を移し取り内側にずらしします。

② 2目立てる減らし目



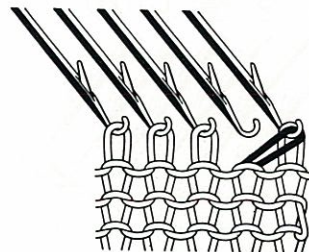
(1) 端から3番目の編目を移し取り、2番目に重ねます。



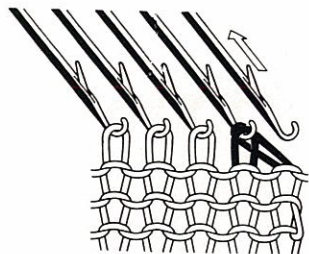
(2) この2目を一度に空針になった3番目のメリヤス針に移します。次に端の編目も2番目に移します。

① 度に2目以上の減らし目

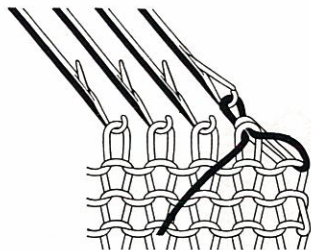
(伏せ止)



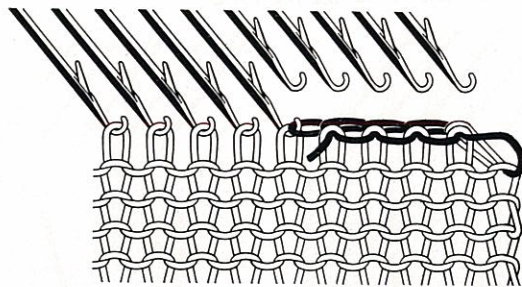
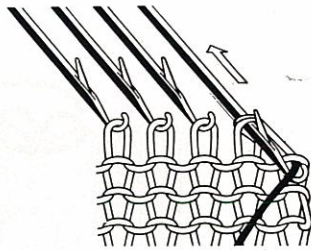
(1) 編み終わったキャリジのある側から行ないます。端から2番目の編目を端の編目に重ねます。



(2) この2目を2番目のメリヤス針に移します。

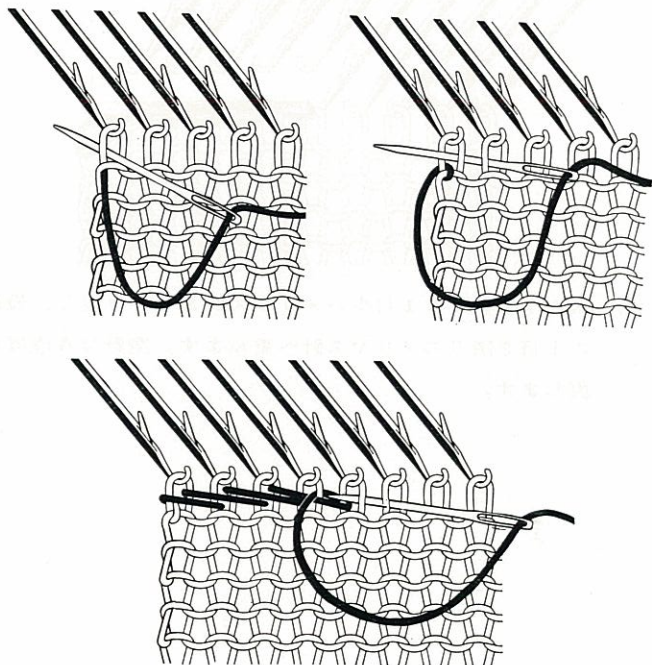


(3) 端糸で1目編みます。



(4) 減らす目数より1目少ないメリヤス針までくり返し，最後の1目を隣りのメリヤス針へ重ねます。空針はA位置に戻します。

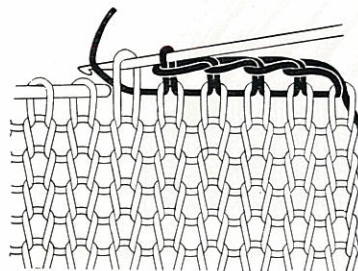
8. 巻き止めと機械はぎ



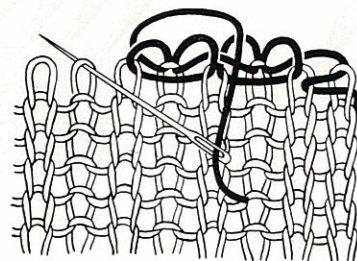
★図は巻き止めの場合を示しています。

機械はぎの場合は、はぎ合わす2枚の編地を、中表にして、いっしょにメリヤス針にかけ、2枚いっしょに巻き止めと同じように行ないます。肩の部分のはぎ合わせによく使います。

9. 伏せ止め



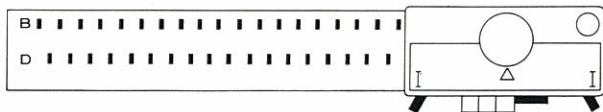
10. ゴム編の止め方



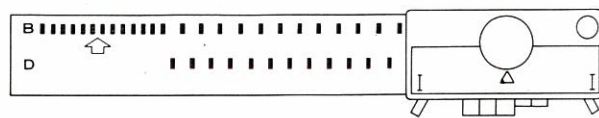
11. L キャリジの引返し編

- ★チェンジレバーを左右共 I にします。
- ★アミコミ左右のボタンを同時に押します。
- ★編目ダイヤルを、次の表によって合わせ直します。

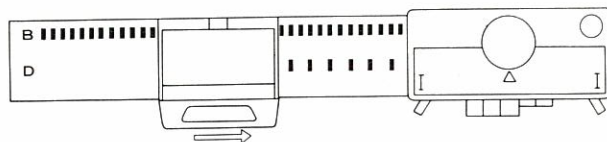
今まで合わせてあった目盛	合 合 せ 直 す 目 盛
4	5
5	6
6	7



- (1) 操作表に従って、選針ボタンを押し選針します。

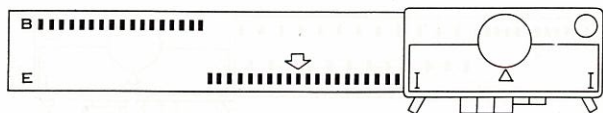


- (2) 選針されたメリヤス針の内・編まない部分のメリヤス針をB位置に戻し揃えます。

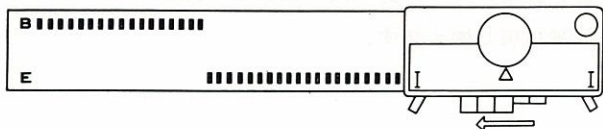


- (3) 操作表の方向にLキャリジを動かします。

※操作表に、Lキャリジ操作がもう一回つづいているときは(1)、(2)、(3)をもう一度くり返します。



(4) 編む部分のメリヤス針を全部E位置に出します。

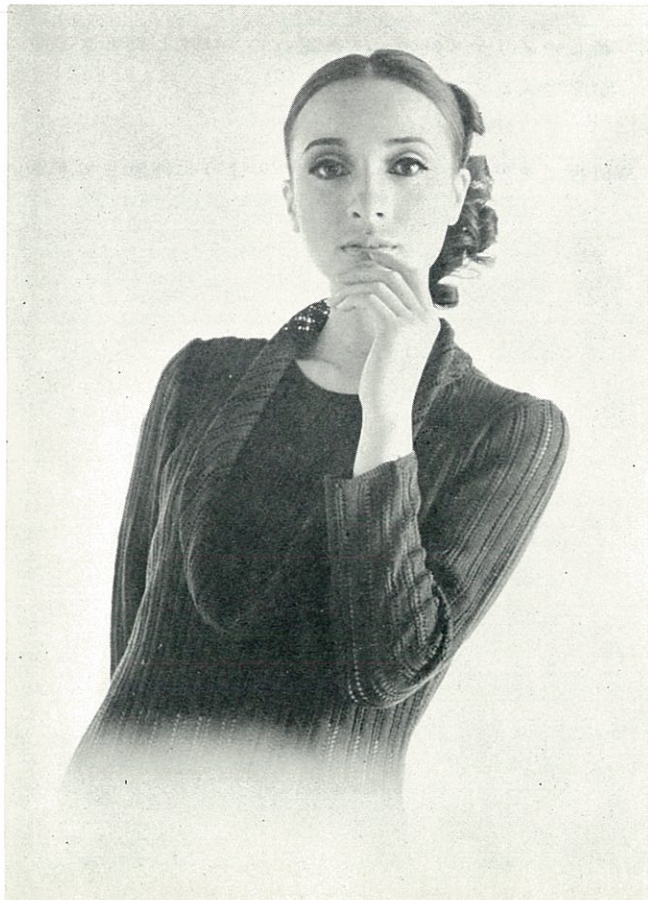


(5) 操作表の方向に、キャリジを一回だけ動かします。

※操作表のキャリジの操作が2段以上のときは、(4)、(5)をその段数だけくり返します。

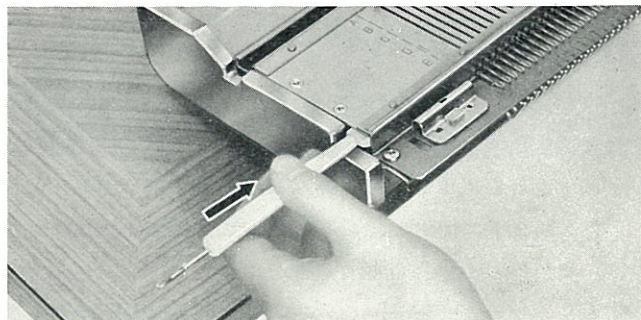
(引き返した部分に穴ができないようにするため、キャリジを引返す前に、編み終りの隣りのメリヤス針フックに糸をかけて下さい。)

もし…のときには…します

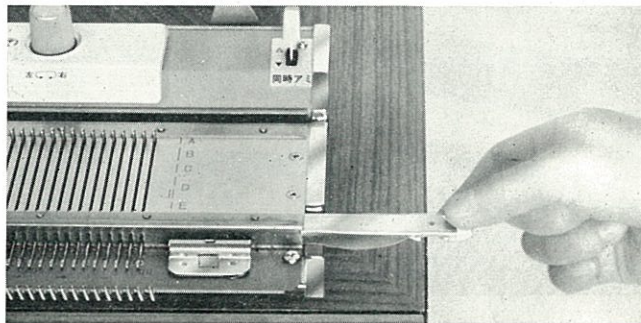


メリヤス針が曲ったとき……

(編んでいる途中でも交換できます。)

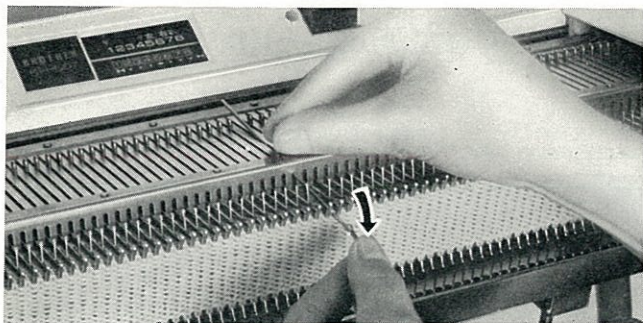


(1) 針押えを片方からミゾ板の中へ押し込みます。

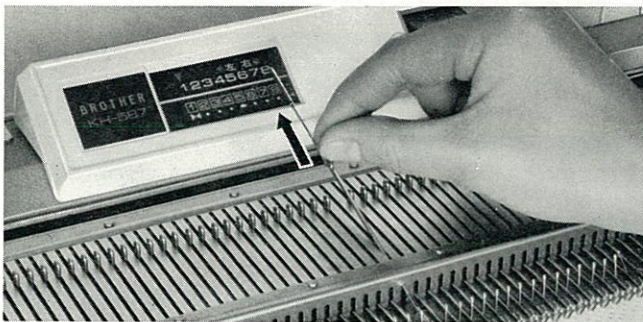


(2) 反対側に出た針押えを引き抜きます。

(針押えの端が、取り替えたいメリヤス針から外れるところまで抜いて下さい。)



- (3) 取り替えるメリヤス針を針みぞの一番手前に引き出し、フックを下に押すと、シャンクがミゾ板の上に出ます。



- (4) シャンクカバットをつまんで後へ引き抜きます。

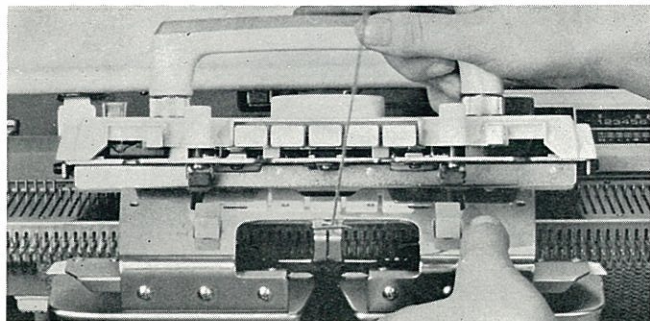
※選針ボタン、反転レバー、スライドダイヤルが、じゃまになるときは、選針ボタンを押すか、スライドダイヤルを回せば取りはずせます。

- (5) 新しいメリヤス針のペラを開いて、はずしたときと逆の順序で入れて下さい。

※針押えを差しこむとき、曲げないように注意して下さい。

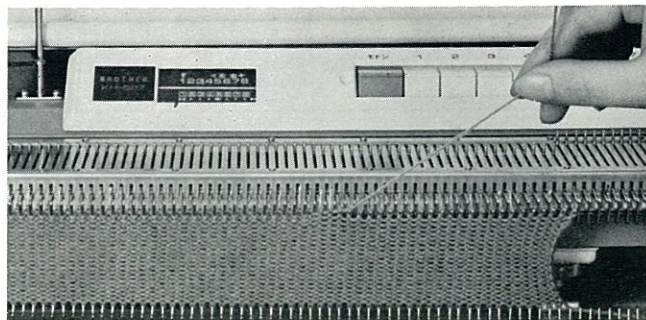
編んでいる途中でキャリジ が動かなくなったら……

★無理に動かさずキャリジをはずして編み直して下さい。



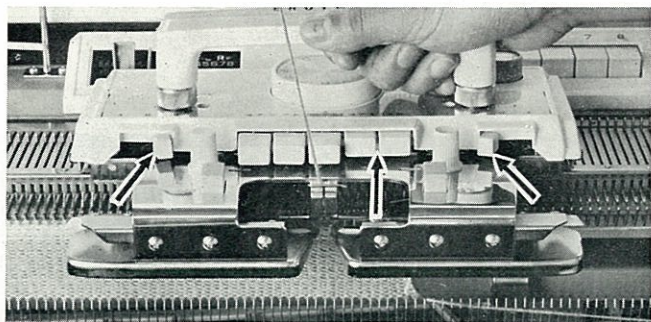
- (1) 編地押えをはずします。
- (2) キャリジの手前を持ち上げそのまま横へずらして、編地のない所で下します。
- (3) 編地押えを取り付けます。
- (4) 途中まで編んだ編目を解きます。(編地の解き方参照)

《編地の解き方》



- (1) 編み終り側の編糸をクシ歯の線に平行に引いて編目を引き絞り、編糸を斜め上に引張って編糸をフックからはずすようにしますと、前の段の編目が自然にメリヤス針のフックに掛かります。
- (2) キャリジを糸端のある側へ空送りさせます。空送りするときは、送りレバーを作動しない位置にしてください。
- (3) 編糸のたるみを糸取装置の後へたぐります。
- (4) 解いた段数だけ、送りダイヤルを戻します。

《キャリジの空送り》



★編針は、B位置に戻します。

(編目がペラを越えた所は、ウツシを使ってB位置に戻します。)

★平編の場合は、

アミコミ左右のカムボタンを押せば、編まないで空送りできます。

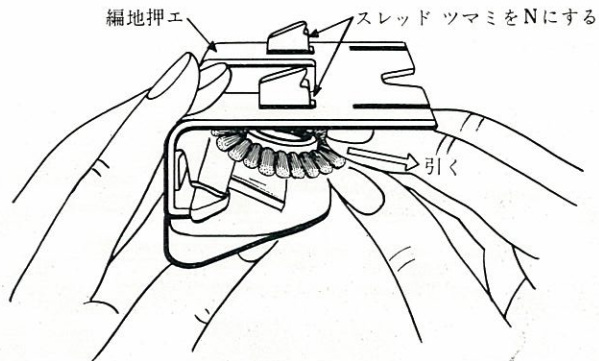
★選針されているメリヤス針がD₁位置の場合は、

選針されたメリヤス針をB位置に戻しておいて下さい。

★メリヤス針がE位置またはD₁₁位置にある場合は、チェンジレバーをⅢに切替えて下さい。

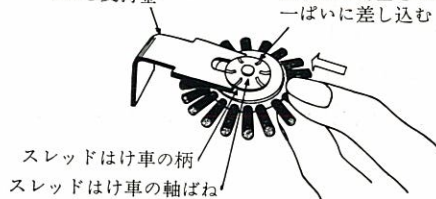
《スレッドハケ車の取りはずし方》

★スレッドハケ車は必要に応じて編地押えから取りはずすことができます。



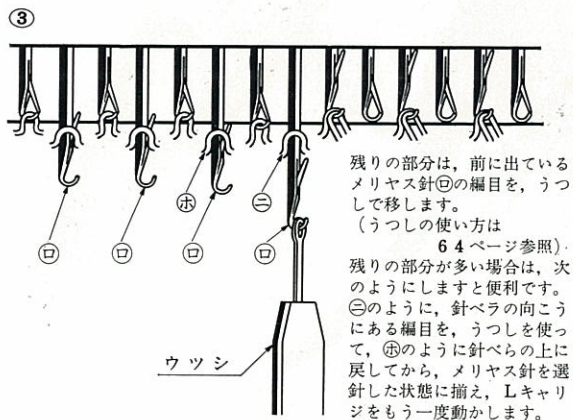
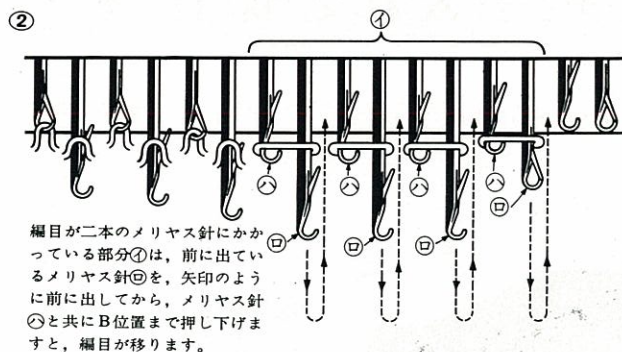
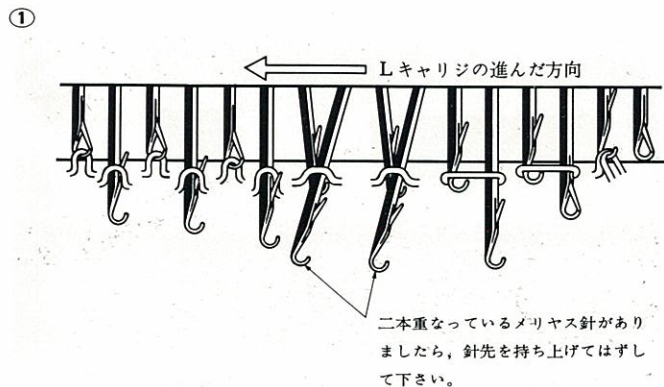
編地押えについている支持金

はけ車の柄と、軸ばねの間に支持金をはさみ一ぱいに差し込む



① Lキャリジが編んでいる途中 中で動かなくなるとき……

- ★無理に動かさないで、その位置で取りはずして下さい。
- ★メリヤス針にひっかかっているときは、よく見て無理のないようにはずして下さい。
- ★メリヤス針がバラバラに並んでいますが、次のようにしますと編んで行くことができます。



* 手入れと保存 *



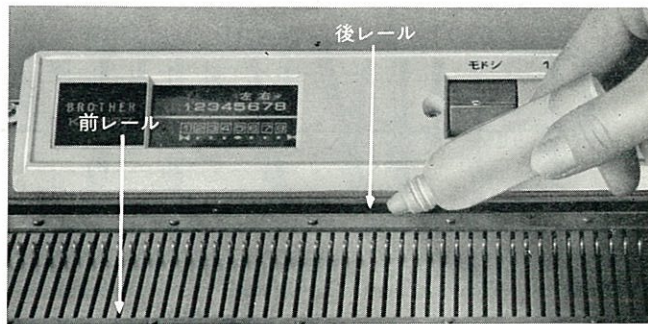
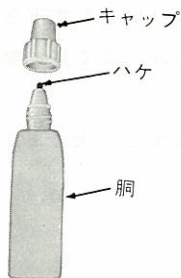
★作品2～3枚ごとに行なって下さい。
調子よく編めて機械が長持ちします。

注

油

★油は必ず付属のブラザー編機用をご使用下さい。

- キャップをはずし、胴を軽く押し
ますとハケに油がしみ出ま
すから、塗りつけるようにし
て注油します。

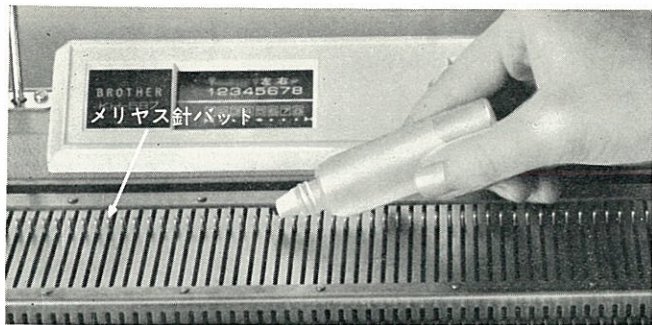


(1) ミゾ板後レール

(2) ミゾ板前レール

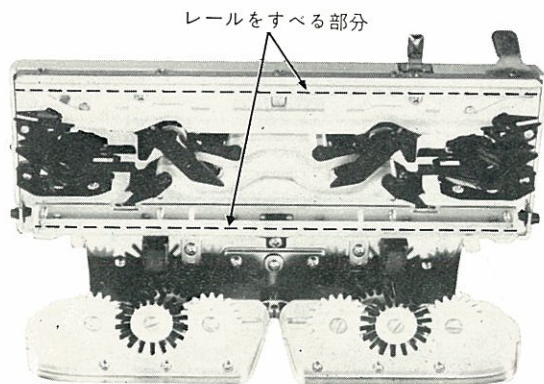
レールの内を布でふいて
から塗ります。

布でふいて少し塗ります。



(3) メリヤス針バット

メリヤス針をB位置に並べ塗ります。



(4) キャリジ裏側

布でよごれをふいてから、写真の点線の部分（側面）に塗ります。

保

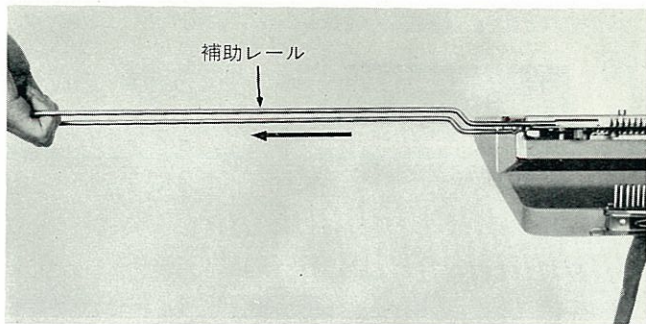
存

- (1) しまうときは、手バケ・布などでよくほこりを除き、金属部分に、付属の油またはミシン油をうすく塗ります。色がついている部分（ケース、キャリジカバーなど）のよごれは、中性洗剤などを布にしませてふきとります。シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリンなどは使わないよう注意して下さい。

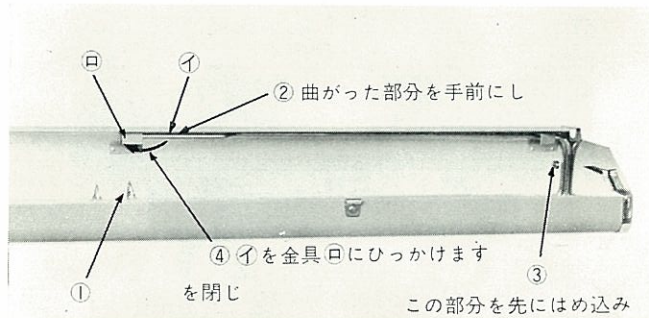
湿気のないところを選んで保存します。

- (2) 長く保存しておいてから、再び使用するときは、一度油のついた布でよく拭き注油してから使用します。最初は古い糸で軽く20～30段平編をしますと、古い油がとれて作品をよごすこともありません。

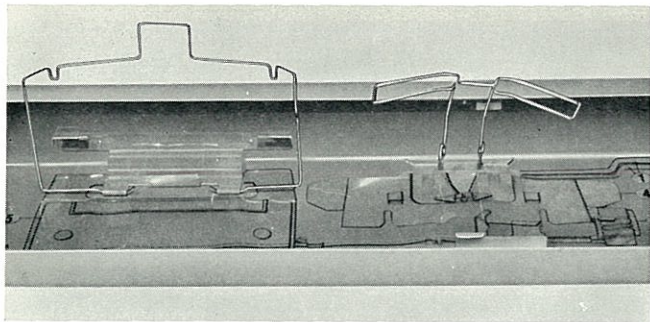
しまい方



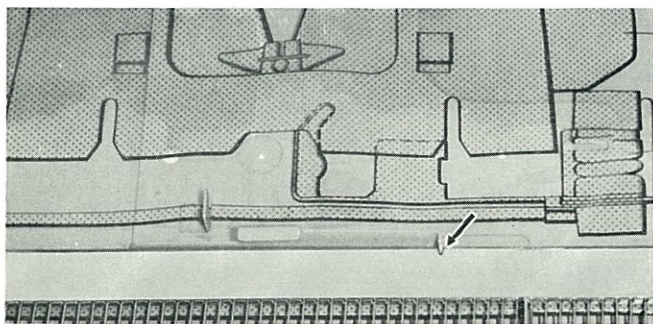
- (1) 補助レールを少し上にあげ、引っ張って取りはずします。



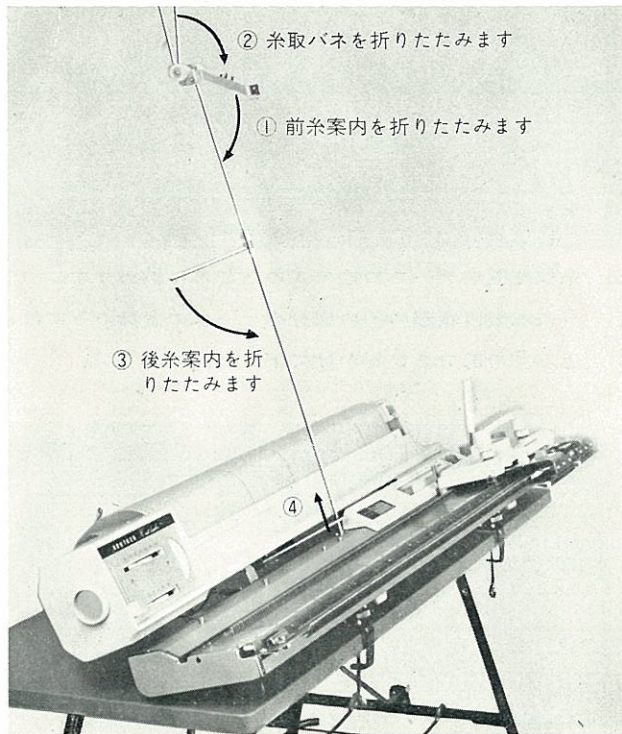
- (2) 補助レールを2本揃えて、ケースの絵の①のところに入れます。



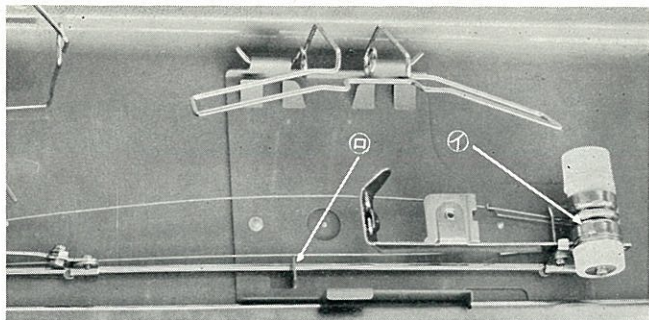
(3) ケース押えバネを二個共開きます。



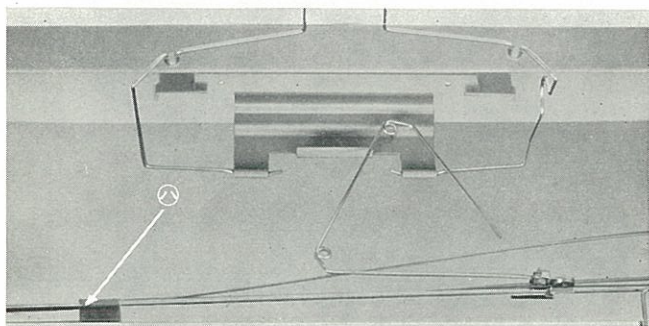
(4) 編出しをケースの絵の②のところに納めます。



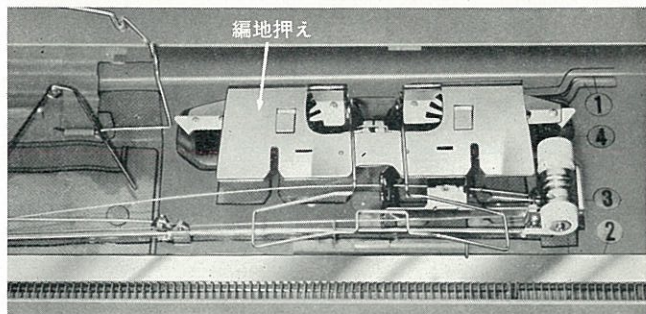
(5) 糸取装置を番号順に折りたたみ、取りはずします。



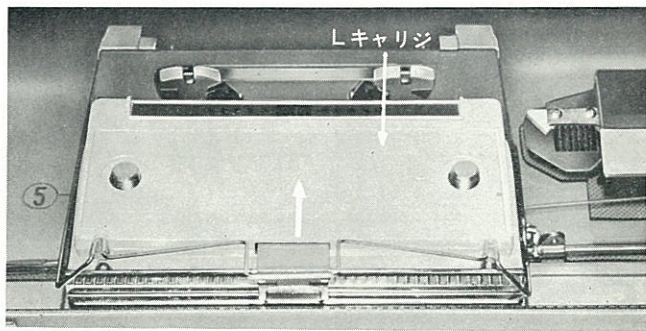
- (6) 糸取装置をケースの絵の③のところへ納めます。
 (糸取装置頭部の㊹の部分ケースの金具の下にはめ込み㊸の部分をはっかけて下さい。)



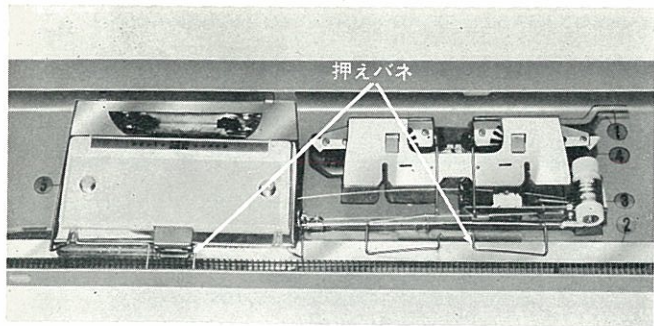
- (7) 糸取棒と糸取ばねを編出しに添わせ、ケースの金具㊺の内側を通します。



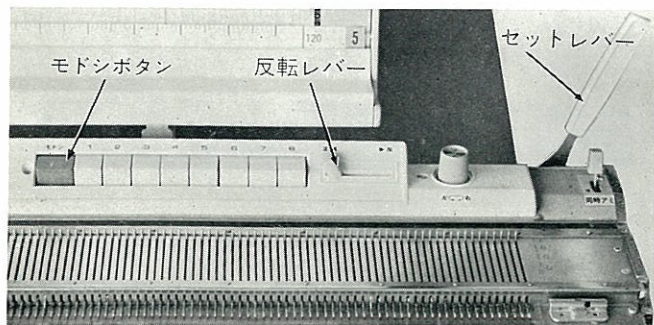
- (8) キャリジから編地押えをはずし、ケースの絵の④の上に正しくのせます。



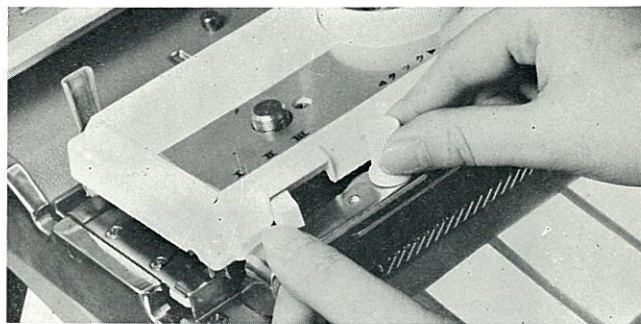
- (9) Lキャリジのハンドルをはずした後、Lキャリジをケースの絵の⑤のところへ納めます。
 (手前側を少し上げ写真の矢印の方向に一ぱい差し込みますと正しく入ります。)



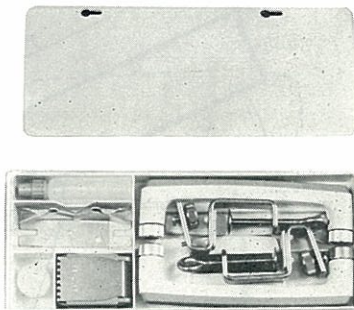
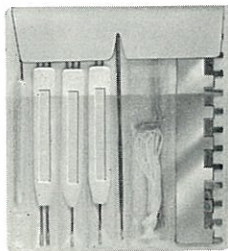
(10) 部品押えバネを二個共閉じます。



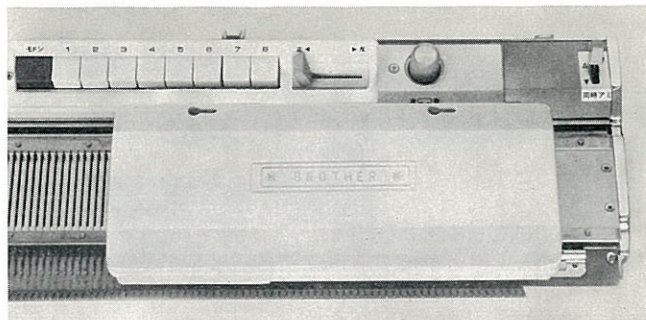
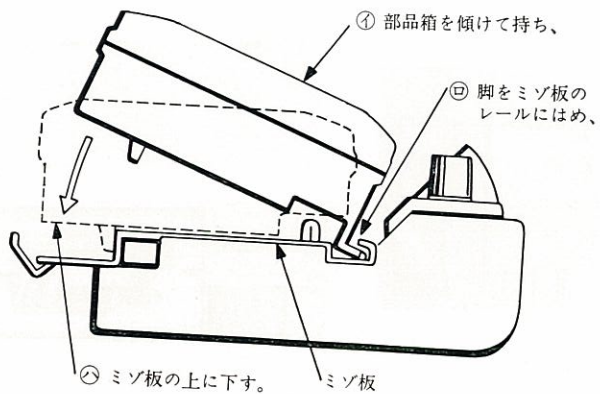
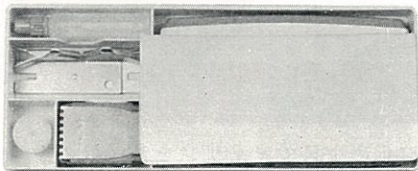
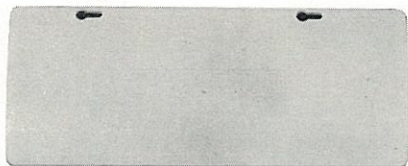
(11) セットレバーをはずし、もどしボタンを押し、反転レバーを正に切換え、メリヤス針を全部Aに戻します。



(12) キャリジ止め金具でキャリジをミゾ板の左端に固定します。

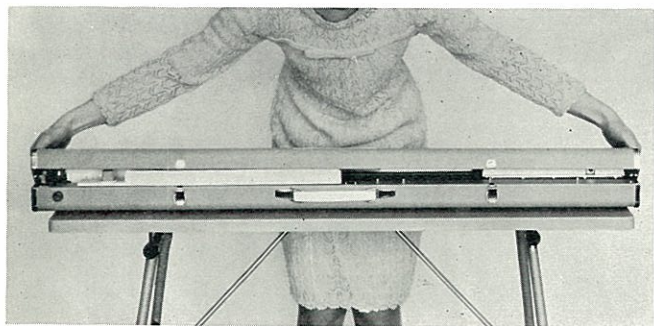
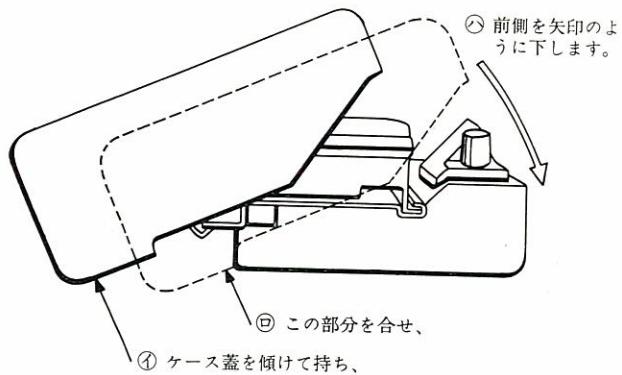


(13) キャリジハンドル・セットレバー取付金具をはずし、他の付属品と共に部品箱の絵の上に納めます。

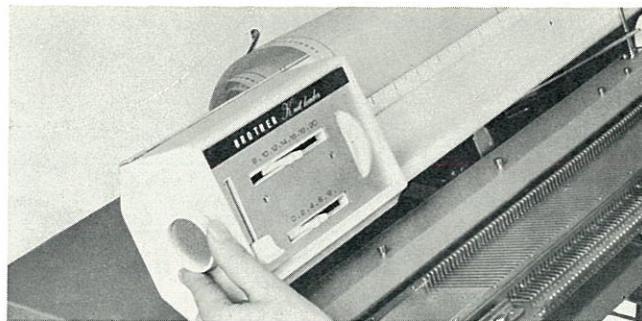


(14) 部品箱をミゾ板の右側（ミゾ板の目盛50に箱の左端を合わせます。）に取り付けます。

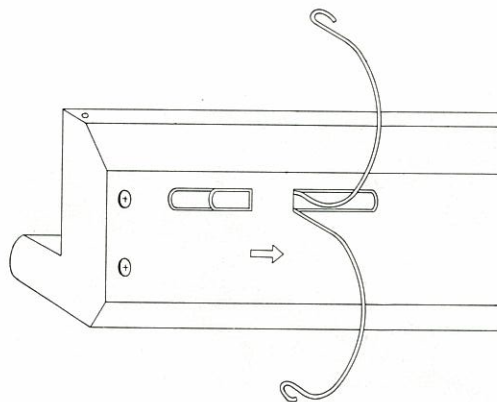




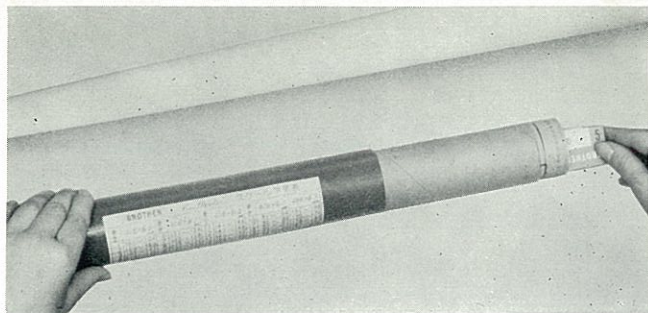
(15) ケースをかぶせ錠前をかけます。



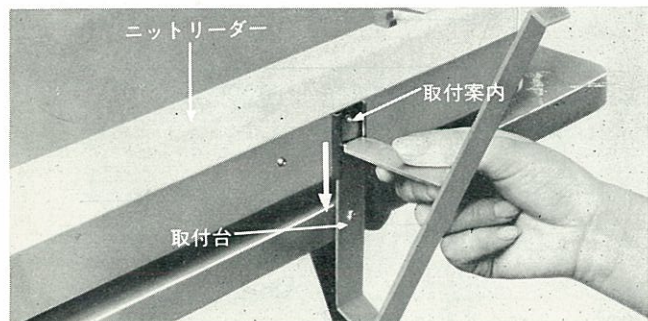
(16) 送りダイヤルをまわしてシートをはずします。



(17) シートガイドをはずします。



(18)シートと編目スケールをシートケースにしまえます。



(19)送りレバーを不作用位置へ下げて取付台をはずします。



昭和44年7月発行(第1版)

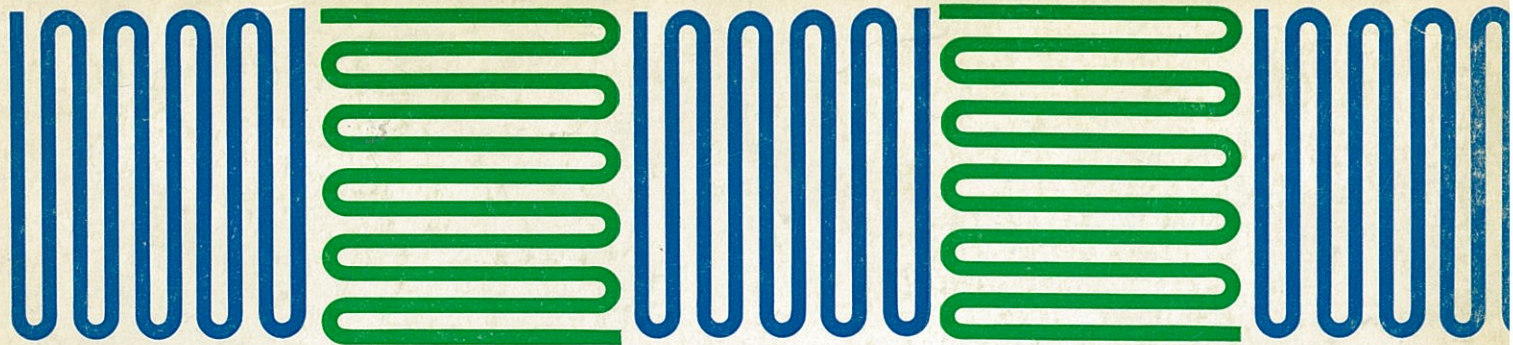
ブラザー工業株式会社
ブラザーマシン販売株式会社

名古屋市瑞穂区堀田通9丁目35番地

電話 代表(811)2511番

411-588

491588-0-01



ブラザー工業株式会社・ブラザーマシン販売株式会社



BROTHER
ブラザー